

スタイリッシュTRPGリプレイ

GM：よし、じゃあそろそろキャラ紹介を・・・

GM：小篠さんですね

小篠憂里（PL：**白右鎖璃月**）：はい。それでは

小篠憂里：小篠憂里と書いて『こじょう ゆうり』と読みます。歳は15歳、この学園へは高等部から進学したばかりの元一般学生です。趣味は読書と携帯ゲームで遊ぶ事。本日は宜しくお願いします。

GM：はい、よろしくお願いします。じゃあ佐藤君

佐藤积迦（PL：**fin**）：HeyYO!俺様はヘブンだぜ！

佐藤积迦：この世界の神になるため、毎日修行が大変だぜ！

佐藤积迦：でも、3年もしたら世界征服してもうやることなくなる未来しかみえねーわ

佐藤积迦：HAHAHA

佐藤积迦：まあよろしくたのまー

佐藤积迦：END

GM：はい、未来の髪でした。よろしくお願いします。では次は飛鳥君ですね。

飛鳥明日香（PL：**ネモ**）：ふふふふ。ぼくこそは

飛鳥明日香：飛鳥明日香。人よんで明日を飛ぶ鳥、トゥモロースワロー。

飛鳥明日香：はっきり言ってまだ方向性が定まっていないよ。

飛鳥明日香：ちょっと聞きたいんだけど、トゥモロースワローって痛い？ かつこいいよね？

浅野寝生：かつこいいかつこいい

飛鳥明日香：そうだよ。ふふふふ。ぼくのセンスが痛いなんてことはない。

小篠憂里：かつこいいです

飛鳥明日香：という訳でよろしくお願ひします。

GM：ということで、燕という方向性は見えてきた明日香君でした。では最後は、浅野さんですね

浅野寝生（PL：ボヘミアン）：へーイ、浅野寝生だよー。ネミーって呼んでいいんだよー？

浅野寝生：かなーり日常的に遅刻してて進級危ぶまれてるけど今日も元気です、よろよろー

GM：では、フレンドリーな感じでほんのりギャル感漂うネミーさんでした。それでは、プレイを開始します～。

パゲマシ部、爆誕す

GM：さて、テスラ学園に入学して少し慣れて来た皆さんは、こうして仲良くなってある部活を作ること
に決めたわけですが…

GM：何作るの！

浅野寝生：カレー？

佐藤积迦：今考えるのか！

GM：そうだよ！

浅野寝生：洗剤パスタ

GM：なんでもいいよ

佐藤积迦：枕部

小篠憂里：げえむぶ

飛鳥明日香：洗剤パスタ研究会

浅野寝生：くつきんぐくつきんぐ

飛鳥明日香：学園生活支援部。

GM：洗剤パスタを調合するゲームを作る制作費を調達するために安眠枕を売って寮生活を支援する部活ですか？

浅野寝生：不具合がなければ異議なしです

飛鳥明日香：不具合しかないだろ

GM：長いから略称が決まれば不具合もなくなるんじゃないでしょうか

佐藤积迦：もうそれでいいぜ

飛鳥明日香：パゲマシ部

小篠憂里：パスゲー枕部

浅野寝生：パゲマシだな！

GM：多数決ですかね

飛鳥明日香：パゲマシに一票。

佐藤积迦：パゲマシ部

GM：じゃあパゲマシ部になりました

小篠憂里：はい

GM：さて、部活を作るには顧問が必要です。

GM：今は昼休みなので探してみてね

飛鳥明日香：「洗剤パスタに造詣の深い先生がいいよね」

浅野寝生：「無駄に厳しくない先生がいいなー」

小篠憂里：「洗剤パスタって…まず知れ渡ってますか？」

GM：洗剤パスタを食べる人はこの世界にはいませんね。

佐藤积迦：「とりあえず居ればいいんじゃないねー？」

飛鳥明日香：「形ばかりの顧問でもいい。たくましく育てほしい（部活が）」

飛鳥明日香：「とりあえず職員室に行く？」

浅野寝生：「だね、暇そうな先生つかまえよ」

佐藤积迦：「その辺歩いてる奴拉致ろうぜ」

GM：一人女の先生が廊下を歩いてきました

GM：食パンをくわえています。昼食のようです。

浅野寝生：「声掛ける？どーする？スルーしとく？」

飛鳥明日香：「パン派か……」

小篠憂里：「スルーしといたほうが良い気がします」

佐藤积迦：美人ですか？

GM：ふつーです

佐藤积迦：するーで

浅野寝生：「パスタに興味ないのかなー」

飛鳥明日香：「そして誰も来なくなった……」

GM：女の先生は去っていきました。

小篠憂里：「こうなったらパスタ派の先生を探します？」

佐藤积迦：「美人なやつがいい」

飛鳥明日香：「パスタ派の先生は洗剤パスタをゆるしてくれるのかな」

飛鳥明日香：「どう思う？ モーニングスリーピーのネミーくんは」

GM：廊下には経師はいませんね。

浅野寝生：「条件は美人で洗剤パスタを許容してくれそうな人、と」

浅野寝生：「まずは気を取り直して職員室へ行こっか」

飛鳥明日香：「移動しようか」

佐藤积迦：「しっかたねえなあ、職員室いくしかねーか」

小篠憂里：「はい」

GM：職員室です。

浅野寝生：中にはどんな人がいますか

GM：テスラ学園は大きいので、職員室だけでも経師が50人ほどいますね

GM：よりどりみどりですよ。

佐藤积迦：「一番若くて美人なのはどれよ？」

GM：佐藤君の美的感覚が不明なのですが

GM：まあ適当でいいんですかね

佐藤积迦：てきとうで

女経師：「ん、どうしました？」

飛鳥明日香：「（ほら、だれかなんとか言ってよ）」

浅野寝生：「こんにちはー。新設部活の顧問やれそーな暇な先生探してるんですけど、いませんか？」

男経師：「ん、新入生か？」

女経師：「あ、あたし手芸部の顧問してるから…」

飛鳥明日香：「手芸部より面白い部活になりますよ」

男経師：「あそこの端末で経師のデータ見れるから、空いてる経師を探してきなさい」

飛鳥明日香：「わーい端末だ？」

小篠憂里：「はい、有難うございます」

飛鳥明日香：「ぼちっとな」

浅野寝生：「わたし機械だめだから任せるわー」

飛鳥明日香：「なんか画面真っ青になっちゃったんだけど」

男経師：ずらずらっとデータがありますが、どの経師も何かの顧問やっていますね。

GM：端末「システム再起動中です…windows me」

飛鳥明日香：「meってxpの前だよな」

浅野寝生：「しゅがーくんフォロー頼んだ！」

小篠憂里：「複数持ちは無理ですか？」

男経師：「いや、どうだろ…ん？彼が空いてたかな…？」

男経師：男経師が端末をいじって確認した後言います。

男経師：「水子 立（りゅう）先生だ。グラウンド整備に行くときさっき出て行った」

浅野寝生：「水子先生ってどんな先生？」

G M：話によると男の経師で、この学園でも1, 2を争う異能力の持ち主らしい。

小篠憂里：「優秀なエリートさんですか？」

飛鳥明日香：「パゲマシ部に興味を持ってくれるだろうか」

浅野寝生：「そんな偉そうな方がうちの顧問引き受けてくれるかなー」

男経師：「パゲマシ部ってなんだね？」

飛鳥明日香：「洗剤パスタを調合するゲームを作るための資金を枕を売ること寮生活を支援して稼ぐ部活です」

男経師：「な、なんだそれは…」

飛鳥明日香：「略してパゲマシ部」

佐藤积迦：「おいまして、男はいらないだろ、別の先生にしようぜ」

飛鳥明日香：「そんなに女がいいなら、女の人と結婚すればいいじゃない！」

小篠憂里：「でもこの方以外に空いてる先生はいませんか？」

男経師：「良くわからん部活だが、変わり者だからだめもとで頼んでみたらいいんじゃないか？ハハハ」

飛鳥明日香：「それじゃあ、とりあえず水子先生を探しに行こう。それでだめなら手芸部に入ろう」

佐藤积迦：「しかたねーなー」

男経師：「グラウンドの方に行ったからなー」

飛鳥明日香：れっつごーつーざぐらうんど

小篠憂里：はい

佐藤积迦：だらだら

佐藤积迦：と歩いていく

眼光鋭い経師（ティーチャー） 水子

GM：と、グラウンドに明らかにオーラの違う経師が一人。

飛鳥明日香：「あの人に話しかけるの怖いなあ」

GM：スプリングラーをいじっています。

小篠憂里：「すいません、水子先生でしょうか？」

飛鳥明日香：「（躊躇なく話しかけた！）」

GM：「そうだ。何か用か？」

水子：「スプリングラーが壊れてしまった。これだから電子制御は…」

小篠憂里：「話があるのですが今時間はありますか？」

水子：「用件をいいなさい」

浅野寝生：「（怖そうだからゆうりさんに任せるとしよう）」

小篠憂里：「ありがとうございます。では早速ですが。実は私たち、新たに部活を新設したいのですが顧問をしてくれる人を探してまして」

水子：「部活だと？（メンバーの顔を見る）ん、ふむ……」

佐藤积迦：「なにガンくれてんだこら」

飛鳥明日香：「ヘブンくん。心証が悪くなるから」

飛鳥明日香：「このたびは素敵なガンをありがとうございます」

佐藤积迦：「へいへい、すいませんでしたー」

浅野寝生：「あすかくんも駄目だってそれ！」

小篠憂里：「あ、彼の事なら気にしないで下さい。一応部活名はこちらになります」（パゲマシ部と書かれた紙を渡す）

水子：「パゲマシ部？なんだこれは？」

小篠憂里：「洗剤パスタを調合するゲームを作るための資金を枕を売ることによって寮生活を支援して稼ぐ部活。略してパゲマシ部です」

飛鳥明日香：「（今思ったんだけど）」

飛鳥明日香：「（売る枕作るんだったら、結局手芸部だよな）」

水子：「中々酷い部活だな……良いぞ、実は取引がしたかった」

佐藤釈迦：「（この先公ひきうけやがった・・・）」

飛鳥明日香：「鳥ひき？」

浅野寝生：「（売る枕を作るのは手段で目的はゲームを作る方だから…）」

小篠憂里：「ありがとうございます。ではこちらの顧問の名前の所にサインをお願いします。……取引ですか？」

飛鳥明日香：「（ゆうりさんがいると着々と進行していくなあ）」

水子：「ああ。学生ならクロワーゼのことは知っているな？」

佐藤釈迦：「あのなんだかよくわからないやつだろ？」

浅野寝生：「なんだかわからないけどすごそうなやつだよなー」

飛鳥明日香：「地球覚醒協会が哲学的に証明したあれですか」

浅野寝生：「おーあすかくん勉強してるなー」

小篠憂里：「学園都市とヴォルテクススラムが争う原因になっている原因だと聞いてますが」

水子：「ヴォルテクススラムとテスラ学園はクロワーゼを巡って争っている。これは重要な問題だ。そして、近い時期にクロワーゼが現われることが分かった」

水子：「お前達が情報収集をするなら、その交換として顧問を引き受けよう」

飛鳥明日香：「（どうする?）」

佐藤釈迦：「それって俺様達に危険はあるのか？」

飛鳥明日香：「（ぶっちゃけ枕作って売りながらゲームも作って洗剤パスタも食べてその上情報収集って

どうよ？ おなかいっぱいだよ)」

小篠憂里：「（でも此处でイエスと言わなければまた顧問探しになりますよ）」

水子：「危険はいつでもある。学習の一環だと思えばよかろう」

佐藤积迺：「程度によるだろー。部活の顧問ぐれーで命がけの取引ってのは吹っかけすぎじゃねーかと思うぜ」

浅野寝生：「ですね、どのぐらい気合の入った情報収集がご所望でしょうか？」

飛鳥明日香：「（ヘブンくんがまともな意見を…）」

佐藤积迺：「ああ？なにガンくれてんだこら明日香」

飛鳥明日香：「いいサングラスですね」

水子：「では、お前達が判断がつくようにクロワーゼについて分かっている事を教えよう」

小篠憂里：「おねがいします。せめてヘブンさんにも分かる様な分かりやすい説明で」

浅野寝生：「ぜひぜひ」

佐藤积迺：「おいおい、天才の俺様にわからねーことなんてーねーことがわからねーとは」

水子：「クロワーゼは四つの要素がある。時間、場所、ターゲット、行為だ」

水子：「そして今分かっているのは一つの要素だけ、ターゲット。お前達の同級生……黒羽こよりだ」

飛鳥明日香：「黒羽こより…」

小篠憂里：「黒羽こより…どっかで聞いた事ある様な」

GM：黒羽こよりはそれほど目立たないですが、良く本を読んでいますね

佐藤积迺：「おう、あの美人のねーちゃんか」

浅野寝生：「言っちゃって大丈夫なんです？そんなこと」

水子：「つまり危険ならすでに存在する、ということだ」

佐藤积迺：「しかたねーな、引き受けてやるぜ。しかたねーからなー。おい、早くこよりちゃんのところに行こうぜ」

浅野寝生：「いや待った、しゅがーくん落ち着こー」

佐藤稜迦：「あ？もう顧問のサインはもらったんだろ？あとはこよりちゃんといちやいちゃしてればいいんだろ？」

浅野寝生：「情報収集ってのは他の3条件を調べて来いってことになるわけですかね？」

小篠憂里：「待って下さい。ヘブンさん。水子先生、再度聞きますが私たちがやる事は学業の一環と判断。こよりちゃんの護衛もしくは監視ですか？」

浅野寝生：「あれ、いちやいちゃしてれば良いだけなの？」

小篠憂里：「いちやいちゃだけな訳がないと思いますよ。少なくとも」

水子：「どのぐらいの危険を冒すかはお前達の判断だ。クロワーゼについて良く理解し、同級生が危険にさらされるようなら守りなさい。何か新しい事が起きたら私に連絡すれば助言する」

佐藤稜迦：「これいちやいちゃしてろってことじゃねーの？」

浅野寝生：護衛でいいのか

小篠憂里：「つまり水子先生もクロワーゼについては余り詳細を知らないという訳ですね。分かりました。……読書家 黒羽こよりですか」

水子：「不確定要素が多いから、まだできることは少ないぞ」

水子：「では、取引成立なら、顧問を引き受けよう」

飛鳥明日香：「ありがとうございます。」

小篠憂里：「宜しくお願いします」

佐藤稜迦：「おい早く行こうぜ」

浅野寝生：「よろしくですー」

小篠憂里：「ヘブンさん。お礼の挨拶も抜きで行こうとしたら心象が悪くなるだけですよ」

飛鳥明日香：「じゃあ、枕を発注して寮の生徒に売りつけてくださいね。高値で」

佐藤稜迦：「あー、はいはい、さんきゅーさんきゅー、よろしくな」

GM：まだ部費はないですよ

飛鳥明日香：まじか

飛鳥明日香：じゃあ先生のポケットマネーかな
佐藤積迦：「こんどあいつのおごりで設立記念パーティしようぜ」
飛鳥明日香：「みんなで洗剤パスタを食べましょう」
浅野寝生：「なんだかわからないけど心強そーな顧問がついたよねー」
佐藤積迦：「んで、こよりちゃんの場所はしってんのか？」
GM：昼休みですからね
小篠憂里：「……多分教室じゃないでしょうか」
浅野寝生：「顧問もできて目的完了！ 教室にもどろーもどろー」
佐藤積迦：「まあ居なかったら俺様が調べてやるよ」
小篠憂里：「早くいかないと五時間目も始まりますし」」
佐藤積迦：「だりーから午後の授業さぼらね？」

読書家のクラスメイト 黒羽こより

GM：教室に戻ってくるとこよりは自分の席で本を読んでいますね
佐藤積迦：こよりの前の席はあいてますかね？
GM：こよりちゃんが一番後ろの席ですね
飛鳥明日香：「（見るからに友達いないよあいつ）」
GM：椅子を揺らして遊んでいます
小篠憂里：「（揺らして遊ぶとか落ちそうで怖い）」
佐藤積迦：ヘブン君いっちゃっていいんすかね。絶対相性悪そうですよ！
飛鳥明日香：誰が行っても一緒な気が。。。

黒羽こより：「（ゆらゆら…ガクッ）！っと…」

小篠憂里：「大丈夫？」

黒羽こより：「あ、ええ…大丈夫よ」

飛鳥明日香：「（おうふ……普通に話しかけているよ）」

浅野寝生：「はろー、元気してるー？」

黒羽こより：こよりはちょっとうなずいて本を読み出しますね

飛鳥明日香：「（強敵だ）」

佐藤积迺：「へいへーい、こよりちゃんそれ何？何よんでんのー？」

黒羽こより：「これ…？これは…」

小篠憂里：「（ブックカバーつき…。何の本を読んでるか分からないか）」

黒羽こより：「スペースオペラ」

小篠憂里：「（まさかのSFだった）」

佐藤积迺：「ふーん、おもしろいの？面白いなら今度貸してくんね？」

飛鳥明日香：「（スペースオペラ……）」

黒羽こより：「When god cry 1 3-1よ。一冊しかないから貸せないわ」

浅野寝生：「ちょっと！かつあげは駄目だよしゅがーくん！」

飛鳥明日香：「か、神々のなく頃に1 3だと！！」

黒羽こより：「知ってる？」

佐藤积迺：「読み終わったらでいいんだけどな」

黒羽こより：「読み終わったわ。もう1 5回目」

飛鳥明日香：「1 3出てたのかー！」

浅野寝生：「1 5回も読み返せるって相当魅力的な作品なんだねー」

佐藤积迺：「どんだけだよ」

黒羽こより：とまあそんな話をしていると、5時間目が始まります。

佐藤积迦：しづしづ席にもどって寝始めるか

飛鳥明日香：「錬金術師 08 引退してなかったんだなあ（しみじみ）」

浅野寝生：「（せめて午後からの授業は頑張らないとなー）」

小篠憂里：「（今日の五時間目、なんだったっけ…）」

飛鳥明日香：五時間目地理か。

GM：授業に関しては特にプレイしないので…放課後ですね

浅野寝生：黒羽こよりを部活に勧誘してもよい

GM：部活への勧誘は、シナリオに規定があります。こよりは、部活に参加したそうだ。

黒羽こより：「何そのわけわからない部活？私も混ぜてもらっていい？」

黒羽こより：「普通の部活は嫌だったのよ」

小篠憂里：「はい。こよりさんなら大歓迎です」

佐藤积迦：「まじか」

浅野寝生：「この教室に他にもエキセントリックな人材がいたとは…」

佐藤积迦：「んーじゃ、部室でこよりちゃんの歓迎会しようぜ。俺様とだれかもう一人買出しだ」

浅野寝生：「おっけー買出し手伝うよー」

佐藤积迦：とりあえず黒羽こよりの個人情報洗いざらいハックするか

GM：生徒情報閲覧システムでいいの？

佐藤积迦：そんな誰でも見れる情報を見てもしかたないでしょう！

GM：じゃあ学園保安システムか。これパーティション12個あるので

GM：1D12で12が出るまで振ってください！（最大12回）

佐藤积迦：でねええええええええええ

GM：素人ですね

GM：まあ見つけました

GM：黒羽こより

人間力5 HP 10/10 移動力2 資金力2

異能力9 MP 18/18 スキル数3 命中強化能力3

武装：ピアースングバタフライ Cタイプ 射程2 命中要素5 ダメージ要素2

スキル

サウザンド・フェザー・サイクロン 爆破タイプ(2)射程0 直径要素3 命中要素6 ダメージ要素6

エンシェント・トーム 時間移動(2) 時間要素9

神託スキル

親元を離れて一人暮らし

中学校では勉強はできるがあまり真面目ではなかった

浅野寝生：水子せんせえの情報をハックしてもいいのよ

佐藤积迦：ついでに顧問の情報があったら見ておきたいです

GM：残念、それは上のランクだ

異能力学園の破天荒授業

GM：んじゃ、今日は土曜日です

GM：土曜日なので、授業が始まるのですが…

佐藤积迦：まじで

佐藤积迦：「あー、だりい。サボるか」

浅野寝生：「おはよーございます、今日もがんばろー」

小篠憂里：「今日は化学がない日だから、途中で訳解らない状態にならなくてすみそうです」

GM：1時間目。

GM：異能力訓練だから

GM：校庭だ

GM：ドンパチする能力の人は校庭でがんばって！

浅野寝生：校舎ふつとばす勢いでがんばります！

小篠憂里：一応槍使いだけど嵐は巻き起こそうとはしませんから

水子：「まだだ、まだお前の力はそんなものではない…」

飛鳥明日香：「喰らえ！ 誰の言うことも機関獣〈イグノアイグアナ〉！！ どかーん」

水子：「やるな……駅前でもらったポケットティッシュがなければ即死だった」

佐藤积迦：授業をさぼって今起きてるクロワゼについてハッキングにいきたいんですが

GM：どこをハッキングするの？

佐藤积迦：とりあえず保安システムを1から全部

GM：うん、クロワゼの情報は保安システムにはない。

佐藤积迦：「あー、やっぱねーかー、めんどくせえ」

GM：さて、3時間目が終わろうとするころ、非常ベルが鳴ります

飛鳥明日香：三時間目は日本史か

小篠憂里：シャカくんが起きた時に渡せる様、今日の授業を分かりやすく噛み砕いたヤツを渡せるよう、纏めてるので。「…………」

佐藤积迦：「あ？なんだ？うるせーな」

校内放送：「不良生徒が暴れています。各自自衛し、可能であれば捕縛してください」

校内放送：「緊急放送、緊急放送…」

飛鳥明日香：「むちゃぶりすぎるだろっ」

浅野寝生：「捕縛だって、どーする？」

小篠憂里：「不良生徒？ こんな時に…？」

飛鳥明日香：「僕は野次馬に行くよ」

黒羽こより：「ソウルが足りないからいってらっしゃい」

飛鳥明日香：「こよりちゃん白猫してない？」

黒羽こより：「白猫はもうふるいわ。これからは黒猫よ」

飛鳥明日香：「赤猫は？ 建物を端から放火するゲームなんだけど」

黒羽こより：「放火…？ 火事は危ないわ」

浅野寝生：「じゃわたしも大人しくしてようかなあ」（護衛しないとー）

佐藤积迦：「こよりがいかねーなら俺もいかねーわ」

GM：そうこうしていると、皆さんのスマホが鳴ります。

飛鳥明日香：「僕のスマホが！」

佐藤积迦：「？」

小篠憂里：（あれ？ 私、サイレントマナーにしてるのに）「えっ？」

浅野寝生：「おやおやスマホに連絡があるとは珍しい」

佐藤积迦：誰からの連絡ですか

メール：水子「実践教習だ。学校の地下に不良どもがいるので捕まえて来い。成績に色つけるぞ。」

小篠憂里：強制参加確定ですか（日和見たかったのに）

浅野寝生：「なんだただの事務連絡」

飛鳥明日香：「成績にいろつけるって、赤点にするってことですかね？（馬鹿）」

佐藤积迦：こよりは行く様子なの？

メール：こよりは行く様子ないですね。

メール：スマホ見て固まってる。

飛鳥明日香：「黒羽さーん。大丈夫？」

佐藤积迦：じゃあいかないでぐだぐだしてる。

小篠憂里：としたら誰かこよりちゃんを護衛する為一人は残るべきではないでしょうか。クラスの状況も
気になりますし

浅野寝生：こよりを連行できませんかね

黒羽こより：「え？え、ええ、大丈夫よ…なに、護衛？」

小篠憂里：（…小声でメンバーに）

佐藤积迦：「あー、あれだろ、部活」

浅野寝生：「捕まえに行ってこいって言うし、行こうよーう」

飛鳥明日香：「じゃあシュガーくん護衛で。僕は成績に色を付けてもらってきます」

黒羽こより：「学校が混乱している隙に部活か、なるほど…」

佐藤积迦：「ちょ、まて、俺も守れよ」

小篠憂里：「んじゃ、枕の宣伝売り宜しくお願いします」（二人に何処からか持って来た大量の枕を手渡
す）

黒羽こより：「嫌よ、枕なんて売りたいくないー、私は god may cry を読むのー」

佐藤积迦：「めんどくせえ、全員で行けばいいだろ」

浅野寝生：「そうだよ行こうってば！」

黒羽こより：「どこへ？」

飛鳥明日香：「もたもたしていると暴動おさまっちゃうよ」

浅野寝生：「地下だつてさ」

佐藤积迦：「だらだらいくか」

黒羽こより：「……まあ、行ってもいいわ、でも安全なところにいるから」

飛鳥明日香：とりあえず明日香は走り出しました。地下へ。

凄腕のハッカー佐藤积迦 meets オートマッピング監視システムと何か

GM：シュガー君のハッキングツールにマップが映し出されます

GM：学校側で手を打ったのか、赤く塗られている箇所の扉はロックされたようですね

佐藤积迦：「あー、んじゃとりあえず一番近い部屋に行くか？」

GM：水子先生がアカウントをくれたので、シュガー君はのぞけます

GM：しかし見える範囲は狭い。

小篠憂里：遠回りした方が無難？

飛鳥明日香：っていうか暴徒はどこ？

佐藤积迦：「あのせんこー、意外に親切だな」

佐藤积迦：まず全部のカメラをチェックして暴徒が映っているか見ます

飛鳥明日香：湖面を滑るように進む白鳥の……

浅野寝生：「不良さんはどこにいるの？」

GM：暴徒は見えないのですが、鎮圧に来たらしい経師が道を塞いでいるのが見えますね

佐藤积迦：私は基本なにもできないので後衛で立ってるだけです

佐藤积迦：近接が得意な人拳手

小篠憂里：風神の波動で中距離なら…

浅野寝生：前歩くわ！

飛鳥明日香：ネミーの後ろ。

佐藤积迦：ネミーと明日香の2トップで私とこよりの護衛にゆうりですかね

佐藤釈迦：通路移動中は最後尾が憂里でお願いします

小篠憂里：じゃあ私はこよりちゃんとシャカくんの背後につきます

浅野寝生：「道をまっすぐ進んでみてok？」

浅野寝生：「れっつごーう」

佐藤釈迦：「カメラにクソどもはみえねーぜ、とりあえず部屋のぞいてくれ」

浅野寝生：「はいりまーす」

小篠憂里：こよりちゃん、置いてどうするのですかw

黒羽こより：「み、みんなやる気満々ね…」

GM：部屋の中は無人だった。

浅野寝生：「どうするカメラ壊してみる？進む？」

飛鳥明日香：「ホントに暴徒いるのか？」

佐藤釈迦：「クソどもがカメラつかってるかわからねーし、今のところカメラがあって不利になることはないんじゃないか？」

佐藤釈迦：「奥は閉まってらしい、一応ためしてみ。で、右手の扉にいくぞ」

浅野寝生：「部屋からでますよー」

GM：その角も無人ですね

浅野寝生：「帰り道に気をつけたい死角…」

浅野寝生：「右手の部屋にin！」

GM：そこも無人。

浅野寝生：「何もないねー」

飛鳥明日香：「僕ら騙されたんじゃないか？」

浅野寝生：「そんなまさかー」

飛鳥明日香：「だよねー」

浅野寝生：正面の部屋すすみま

GM：無人！

佐藤积迦：「ああ？いねーじゃねーかクソが」

浅野寝生：「行き止まりみたいねえ」

GM：ただ、この部屋はなんだか荒れている。

浅野寝生：「荒れている」

飛鳥明日香：「せっかく来たから掃除でもしていく？」

佐藤积迦：「さっきまで居たのかぁ？」

GM：備品が壊れて、これやらかしたら注入されそう。

飛鳥明日香：「ここに僕ら居たら間違いなく濡れ衣かぶされるんじゃ」

浅野寝生：「まさか濡れ衣を被せるために私たちを呼んだのか！」

佐藤积迦：「おいおい、一応何が起きたか調べるか？」

浅野寝生：「あ、そういうのわかるんだったね。ためしてみてー」

佐藤积迦：暴徒が来たのは何分くらい前ですかね

佐藤积迦：それくらい前まで時間移動したいんですが

GM：水子からメールが来た時間は記録があるけど。

佐藤积迦：滞在1分かー

佐藤积迦：メールが来た時間より少し前で

GM：つまり勘ですね

佐藤积迦：はい

佐藤积迦：「いってくるわ」

浅野寝生：「まかせたぞー」

小篠憂里：「いってらっしゃい」

GM：人間力で判定！

佐藤积迦：くそが！

GM：過去に戻った釈迦の前に、一人の焦った生徒がいる。

佐藤釈迦：「おい、どうした？」

生徒：「おうわあ！？おわあああああわわああああ」

生徒：生徒は掻き消えるように消えていきました。

佐藤釈迦：「あ？」

GM：取り残された佐藤君。

佐藤釈迦：部屋はあらされてますか？

生徒：あらされてます。

佐藤釈迦：「思ったより荒らされるのはえーな」

佐藤釈迦：まあ戻ろう

GM：無事戻ってきました。

佐藤釈迦：「よう、なんか変な生徒がいたが消えたわ」

佐藤釈迦：「メールが着たくらいにはもうあらされてたぜ、クソどもがやったんなら、最初からここが狙いだったのかもな」

水子からのメール着信：「まだ捕まえられないのか？暴徒を識別した。顔写真を送るぞ」

佐藤釈迦：「おい、やつ煽ってきてるぞ」

浅野寝生：「学校の防犯システムに文句いってほしいもんですね」

浅野寝生：顔写真に見覚えはあるんだろうか

GM：佐藤君にさっき出会った人ですね

佐藤釈迦：「あ？こいつさっきいたやつだぞ」

浅野寝生：「ほんと？でも消えたんだよね」

GM：ちなみに暴徒は4人（以上）

飛鳥明日香：「訳が分からぬ」

佐藤釈迦：「もう一回時間移動してさっきのやつが何をしていたのか探るか、めんどくせえから先に行く

か、どうするよ？」

小篠憂里：二手に分かれます？

浅野寝生：「時間移動してみてきてもらいたいかなー」

飛鳥明日香：「時間移動に一票」

小篠憂里：「時間移動お願いします」

佐藤积迦：「じゃあみてくるわ」

佐藤积迦：さっきより5分くらい前で

GM：じゃあ、そこにはさっきとは別の2人の人物がいる。

佐藤积迦：「おい、お前ら」

GM：彼らは积迦には気づかずに奥の扉に入ろうとしている。

佐藤积迦：「ここでなにしてた？」

佐藤积迦：あ、部屋は荒れてますか？

GM：荒れてます。

誰か：「うわ？新手か！？逃げろ！早く入れ！！」

誰か：逃げていきました。

佐藤积迦：この二人は顔写真のやつらじゃないんですね

GM：顔写真のやつらです

佐藤积迦：まじで

佐藤积迦：追って見るけど時間切れかな

GM：追って行けますね。

GM：まだ40秒くらいある。

佐藤积迦：とりあえずいけるところまで追う

飛鳥明日香：全力疾走

GM：6番の部屋に入りました。

佐藤积迦：「おい、何があった？」

GM：そこには4人の生徒がいますね。

佐藤积迦：「！」

佐藤积迦：全員が送られてきた顔ですか

暴徒：うむ

暴徒：「見つかった！やっしまえ！」

佐藤积迦：「おい、貴様等！」

暴徒：「問答無用！」

佐藤积迦：現代へ帰ります！

GM：逃げるのかー

佐藤积迦：私が本気を出せば一瞬だがまだそのときではない！

佐藤积迦：まだそのときではない！

GM：さてそんな感じで佐藤君が帰還しました

佐藤积迦：「・・・おう、奴ら4人ともいたんだが、北の部屋にいったくらいしか分からなかった」

飛鳥明日香：「なるほど。じゃあ、行ってみようか。北の部屋とやらへ」

浅野寝生：「おかえりー、お話しできたりはしなかったかぁ」

佐藤积迦：「問答無用で襲ってきたぞ」

GM：ちなみに「なぜか理由は分からないが」北の部屋のカメラには暴徒は映っていませんね

浅野寝生：時間が違うからというのは理由にならないのかな

飛鳥明日香：「きっとシャイなんだよ」

佐藤积迦：「今はカメラにうつってねーな。最初の奴が急に消えたのを考えると、瞬間移動できるんじゃないか」

浅野寝生：「とするとロックも意味なさそうだけど…」

飛鳥明日香：「厄介な相手だぜ」

小篠憂里：（時間移動ばんばん使い過ぎて戦闘に支障でないよね…？）

浅野寝生：「とりあえず北の部屋に進む道を開いてもらってー」

GM：経師から発見したという連絡はない。

水子：「焼却炉の部屋だな？分かった、今開くぞ」

佐藤积迦：焼却炉かよ！

水子：開いてくれたようです

佐藤积迦：「っし、じゃあ行こうぜ」

そよ風にかき消された不良の青い情熱

GM：はい、ネミーさん入りましたね

GM：人間力判定！

浅野寝生：ひええ

GM：（ダイス判定…プレイヤー先攻）こいつらあーw

飛鳥明日香：wwww

GM：部屋にいた暴徒にネミーが先に気づいた！！

浅野寝生：「居たのか・・・」

佐藤积迦：普通に隠れていただけか

浅野寝生：「おはよー！」

暴徒：「うわああああああ、見つかった！！やってしまえー！！」

浅野寝生：[目覚ましクラクション]をポンさんの位置中心にぶっぱ

浅野寝生：射程10直径1の爆発

浅野寝生：ダメージ4

ポン：「うわぁ！！朝か！！」

佐藤积迦：「いや、お前起きてただろ」

ポン：「耳がガンガン鳴るぜ…」

佐藤积迦：「我が臣下明日香に勅命を申し渡す！なんとかしろ！」

GM：人間力強化か

佐藤积迦：次のラウンドの終わりまで人間力+16です

浅野寝生：+16って絶大ですね

GM：こよりは物陰に移動

小篠憂里：では行きますよ。「飛び越えちゃえ！疾風の如く！」

GM：ジャスティスと勝男は移動と

ポン：「みかん・もぎれ・ビーム！！」

飛鳥明日香：「くっ……ミカンがもぎれる！」

ポン：「ふふふ…みかんは美味いぞ…」

小篠憂里：（ダイス判定…回避成功）

ポン：「く、俺のみかんがかわされるだと…」

飛鳥明日香：すばらしいね

浅野寝生：グレート

小篠憂里：「えへへ、褒められちゃいました」

飛鳥明日香：MP消費2 アスを射る矢 トゥモローアローをポンさんに向けて。

GM：ダメージ！

飛鳥明日香：7

ポン：「む、無念・・・」

飛鳥明日香：「お前のミカンの味、僕は忘れないぜ」

小篠憂里：「あちゃあ…じゃあ私の出番はどうしようかなあ」

小篠憂里：「ま、ややこしいヤツは…」ジャスティスに攻撃視準を向けて

ジャスティス：「ジャスティーーーーーッ！！さあ、かかってこい！」

小篠憂里：（風を槍に集中させてグルグルと渦巻きが出てるイメージで）「…………風神の波動！」

飛鳥明日香：（今説明読んで思ったけど風速四メートルってけっこういい感じの風だよな）

ジャスティス：さわやか

ジャスティス：「ぎゃあああああ、台風だと！」

佐藤积邇：風速4mの台風か。

小篠憂里：いやだって40mにしたら怖がりますし。

ジャスティス：「まだだ、まだ正義は滅びぬ…」

佐藤积邇：一個右に移動して

佐藤积邇：「くくく、まだ俺様の出番ではないようだな」

佐藤积邇：と呟く

飛鳥明日香：「物陰に隠れたぞ」

浅野寝生：LH狙いでジャスティスさん照準で[目覚ましクラクション]

浅野寝生：「寝てな！」

浅野寝生：4点

ジャスティス：「わ、我が正義、ここに…完成！！ジャスティーーーーーッ！！」

飛鳥明日香：「ジャスティス。君のミカンもいい味出してたぜ」

勝男：「うわ、みんなやられちゃったぜ…」

勝男：「とりあえず攻撃だ、えい」

勝男：「俺のカジキマグロを喰らえ！！」

佐藤积邇：カツオじゃないのかよ！

小篠憂里：（ダイス判定…回避成功）

勝男：「チキショー！風で魚の回流が…乱れる！！」

丸亀：「仕方ない…僕の真の力を見せる時がきたようだね」

丸亀：「バク☆ダン！」

飛鳥明日香：（だんだんネーミングが……）

小篠憂里：（ダイス判定…回避成功）

佐藤积迦：全然奥の手じゃなかった！

浅野寝生：前衛が優秀

飛鳥明日香：さっきから華麗。

丸亀：「おかしい、僕の完璧な爆破範囲計算が…」

飛鳥明日香：MP 2 消費。ダイナマイトスマイルを 3 0 - 1 4 に。

GM：二人巻き込みか！

飛鳥明日香：5 点

丸亀：「むぎゅう、これも計算のうちさ…（バタッ）」

飛鳥明日香：「君のミカンはまだまだ酸っぱいぜ！」

浅野寝生：「何を目論んでいるんだ…」

勝男：「かわしてやったぜ！これで空中から行くぞ！！」

浅野寝生：かつお当たってない？

飛鳥明日香：かわしてないかわしてない。

勝男：「えっ！？まだ来るの！？うぎゃあああああああ」

飛鳥明日香：「さあ、どうぞ誰かとどめを」

佐藤积迦：私が

佐藤积迦：ここまで移動して

勝男：「あ、お前！さっきの怖いやつ！！」

佐藤积迦：「俺が手を出すまでも無かったな、終りの時間だぜ」

佐藤积迦：というだけ

飛鳥明日香：風速四メートルの風を！

小篠憂里：「風神の波動！」

勝男：「なんだこの風は…うう、飛ばされるうううう」

勝男：「う、うわああああああああ」

GM：暴徒は全滅しました！

飛鳥明日香：ぱぱぱぱーんぱーんぱーんぱーんぱぱーん！

小篠憂里：「風は本気を出せば、皆を守って助けられる！ってね」

佐藤积迦：「じゃあ、こいつ等を拷も…尋問すんのか？先公よぶ？」

浅野寝生：「せんせーがたに引き渡す前に聞き込みしておきたいかなあ」

GM：明日香は焼却炉の横に本が落ちているのを発見した

飛鳥明日香：「見てみてー、あんなところに木が！」

飛鳥明日香：「本が！」

浅野寝生：「どう見ても本！」

佐藤积迦：「ああ？別に本くらい落ちててもどうでもよくね？」

GM：木はない

浅野寝生：拾いにいきます

飛鳥明日香：「これは一本取られましたな（にやり）」

浅野寝生：「してやられた」

GM：黒こげで表紙とかは判別できなくなってますね。

浅野寝生：中身は？

GM：中身は読めるけど君達は知らない。小説のようだ。

浅野寝生：「スペースオペラかな」

ジャスティス：「おい、早く解放するのだ！」

佐藤积迦：最近燃やした感じですかね。

飛鳥明日香：「こよりんこれよんだことある？」

黒羽こより：「うー？なにこれ…！！」固まってひきつってます

飛鳥明日香：「大丈夫か！？」

黒羽こより：「な、なんでもないわ…」

浅野寝生：「解放しろと言われましても。きみら何をなさったのさ」

佐藤积迦：私は不良を見張ってます。

飛鳥明日香：「なんでもないのか」

勝男：「俺達は悪くねえ！経師の連中が襲ってきたのさ！」

浅野寝生：「不良の君らが暴れたって話で非常ベルなってただけ違うのかね」

飛鳥明日香：「誤報だったのか」

丸亀：「ノンノン、僕らは正当防衛だよ」

ニコチンとタールとそれとは別のうさん臭さ

GM：と言ってる

GM：部屋の外から入り込んでくる物体が。

飛鳥明日香：「なんだこの物体は」

佐藤积迦：形は。

GM：掃除ロボのようですね。ウィンウィン言いながらサイレンを光らせてます

飛鳥明日香：「なんだルンバか」

佐藤积迦：普段からサイレンなんてなっていました？

GM：どうも非常モードのようで、ディスプレイに警告が出ています。

浅野寝生：「本は隠し持っておこう」

佐藤积迦：「おい、様子がおかしいぞ」

飛鳥明日香：「えーっと、何何？」

ルンバ：*Alert:ニコチン・タール反応を検知。管理者に警告を伝達します*とかディスプレイに書いてある。

飛鳥明日香：「どうやらこの中に。。。」

佐藤积迦：「・・・・・・・・」

飛鳥明日香：「タールを常飲しているやつがいるらしいな」

佐藤积迦：「死ぬだろ」

ボン：「ぎくう！！」

浅野寝生：「喫煙者でもいるのかねえ」

佐藤积迦：「まあなことどうでもいい、おいお前ら、隣の部屋が荒らされてるのはお前らじゃねーのか？」

丸亀：「僕らともいえるし、聖徒会の手先がやったともいえる、しかし僕らは正当防衛であることはカメラにシッカリ記録されて・・・ふふふ、計画通りうんぬん」

佐藤积迦：けります

丸亀：「ほげえ！」

佐藤积迦：「うぜえ、分かりやすく言えや」

飛鳥明日香：「聖徒会の手先？」

丸亀：「せ、戦闘の痕であるとわからないのかな」

飛鳥明日香：「その手先はどこに消えたの？」

浅野寝生：「まさかこの焼却炉の中に…」

丸亀：「偶然放送を聴いた生徒じゃないのかな？脅かしてやったら逃げて行ったよ、計画通り」

佐藤积迦：蹴ります

丸亀：「ぼべら！」

佐藤积迦：「早く計画とやらを話せ」

ジャスティス：「それはただの口癖だから聞くだけ無駄である！」

佐藤积迦：蹴ります

佐藤积迦：「くそが、同でもいいから早くお前らの目的を話せよ」

ジャスティス：「イタッ！…ジャスティーーース！！」

浅野寝生：「埒があかんねえ」

飛鳥明日香：「隣の部屋が荒れているのは、君らが正当防衛で戦闘したからという認識でおk？」

GM：とまあ、時間が経ったので水子先生から通信がきますよ

飛鳥明日香：「もっしー？」

水子：「お前達、もう喫煙不良生徒は捕まえたのか？」

浅野寝生：「おー」

飛鳥明日香：「タールのんでるやつならここに縛ってあります」

佐藤积迦：「……」

水子：「良くやった、回収しに行くから待ってろ」

GM：とまあただの喫煙発覚事件だったようなのですが。

飛鳥明日香：なんで部屋は荒れていたんだ……

浅野寝生：「へい不良ども。タバコ吸ってて注意されて反抗した、でOK？」

GM：偶然居合わせた生徒が放送に従って捕獲しようとして失敗したようですね。

飛鳥明日香：「なるほろ」

佐藤积迦：「だりい、無駄なことしちまった」

丸亀：「中々物分りがいいね。そこの禿とは違う、よいよよいよ」

佐藤积迦：けります

浅野寝生：「けっていいよー」

丸亀：「ぎゃあ！」

佐藤积迦：「こいつらはそれで言いとして、その焦げた本はあれか、ただのゴミか？」

GM：とまあ、そうこうしていると経師たちが来て収束するわけですが、何かしないですか

飛鳥明日香：本を持って帰って家宝にする

飛鳥明日香：あと焼却炉をもう少し探す。

勝男：「くそ、イアン・穴都谷のやつめ、一人だけバツくれやがって…」

勝男：「タバコを俺達に配布していたのはアイツだぜ！ちくしょー！」

飛鳥明日香：「ちょっと待ってください！」

飛鳥明日香：「だれですかイアンなんとかって。」

飛鳥明日香：「何て読むんですか。」

勝男：「いあん・あなつや」

飛鳥明日香：「イアンあなつや……」

飛鳥明日香：「あ、わかりました。どうぞ連行されてください」

浅野寝生：名前の読みを聞いただけ！

飛鳥明日香：いあんあなつや→いやなやつちゃー

軟派師・积迦、こよりを茶会の主とせんとす

GM：焼却炉には他には残ってないですね

佐藤积迦：「何か気になることでもあるのか？」

飛鳥明日香：「そうか。じゃあ、残されたのはこの本と嫌な奴だけか」

浅野寝生：「まあ本の方は普通に処分目的で置かれてただけかもねー」

飛鳥明日香：「とりあえずヘブンリーは嫌な奴の情報を調べてみます？（疑問形）」

佐藤积迦：「あ？どうでもよくね？ただのもくだろ？」

浅野寝生：「成績にさらに上乘せがあるかもよ」

佐藤积迦：「別にきょうみないわ」

浅野寝生：「どーせせんせーがたが調べるか」

浅野寝生：「地上へもどろう」

飛鳥明日香：「帰りましょうか」

飛鳥明日香：「しかしなんだろうねこの本は」

GM：さて今日は土曜日なので、4時間目が終わったら学校終わりですね

佐藤积迦：「ただのゴミだろ」

飛鳥明日香：「ぼくちょっと読んでみるよ。授業ないし。」

佐藤积迦：「俺はどうすっかなー、こよりちゃんなんか予定あんの？」

黒羽こより：「今日はこれで帰るつもり。明日は漫画喫茶に行こうと思う」

佐藤积迦：「どっか遊びにいかね？」

黒羽こより：「ああ、今日はダメよ、予定がないという予定になってるから」

佐藤积迦：「いみがわかんねーわ」

浅野寝生：「予定のない日は大事だよねー」

黒羽こより：「あなた、良く分かってるわね！」

佐藤积迦：「まあ飯でもくいいいこーぜ」と言って強引に引っ張っていく

黒羽こより：「私は和食しか食べないんだからね！」

飛鳥明日香：本を読みながら地上に戻る。

佐藤积迦：「おー、じゃあ和食で。ねみーは来るか？」

浅野寝生：「今日は疲れたから家でごろごろー」

浅野寝生：監視業務放棄

佐藤积迦：「相変わらずやるきねーな」

飛鳥明日香：まあ監視はヘブンくん任せにおけば。

佐藤积邇：じゃあ適当な和食の店にいきます。

黒羽こより：「くっ、1000円札がないわ…」

佐藤积邇：「あー、いーよ、おごってやるよ。俺が誘ったんだしな」

佐藤积邇：で、適当に最近面白いこととか変わったことがおきたりしたか聞きます。

浅野寝生：有能だ

黒羽こより：「ないわー、授業は退屈だし、黒猫はレアこないし。god may cry は入手困難だし」

佐藤积邇：「本ばっかり読んでるくせに本の話題じゃねーのな」

佐藤积邇：「面白い本はねーの？」

黒羽こより：「god may cry しか読んでないわ、私狭く深くだから」

黒羽こより：「でも決まった場所にしか置いていないの、明日はそこに行くわ」

佐藤积邇：「ふーん、レア物なの？」

黒羽こより：「昔はもっと置いてあったのだけど、急に消えたのよ」

飛鳥明日香：（最初読んでたのは when god cry 1 3 - 1 だったんじゃないかっけ）

佐藤积邇：「あれ、つーか漫画喫茶って行ってなかった？かわねーの？」

GM：（おお、そうだった。when god cry 1 3 が god may cry なんでしょう）

飛鳥明日香：（そうなんだ）

黒羽こより：「買いたいんだけど、漫画喫茶だからね。1巻は学園にあるけど、他は別の場所で借りるしかないのよ」

佐藤积邇：「へー、そんなに売ってないもんなのか。面白そうだから俺も明日一緒にいくわ」

黒羽こより：「部活の部費で揃えるべきだと思うの」

佐藤积邇：「あ？そもそも売ってないんだろ？」

黒羽こより：「この際なのでみんなに読んでもらいたいわ！」

浅野寝生：まず部の活動をすべきだとおもうの！

飛鳥明日香：洗剤パスタを茹でるべきだと思うの！

黒羽こより：「品薄なんだけど、何とか見つからないかしら…ヤホオクで」

佐藤积迺：「あってもたかそーだなな。まあ部長に言ってみればいいんじゃない？」

佐藤积迺：「とりあえず明日は漫画喫茶で部活すっか。奴らに連絡しておくわ」

佐藤积迺：こよりの連絡先って聞いてましたっけ？

黒羽こより：「やった、布教のチャンスだわ。お願いね！」

GM：聞いてないかと。メールアドレスと黒猫の招待コードを教えてくださいよ。

佐藤积迺：「さんきゅー、でもこっちのなんとかコードは何に使うんだ？」

GM：「黒猫を起動してそれを打ち込むと…私が得する」

佐藤积迺：「しらねーわ。メアドは奴らにも教えておいていいか？」

GM：的な発言

GM：OKだそうです

佐藤积迺：じゃあ後は適当に雑談して解散で。

GM：こよりは帰宅して이었습니다。

読書人と非読書人による読書会議、行われる

佐藤积迺：その後、残りの三人に明日はこの辺に集合ってのと、こよりのアドレスこれだから登録しておけて連絡する。

佐藤积迺：あと、明日香だけ

佐藤积迺：「その本なんたらめいくらいってやつ？」ってメールを送る。

飛鳥明日香：どうなんですかね

GM：内側にもタイトルはあるかな。恐らくそうですね

飛鳥明日香：「そうっぼいよ」

GM：マール・アッテンボロー提督大活躍の回です

佐藤釈迦：「まじ？こよりはそのシリーズだけ好きで読んでるっていったぞ。見せたとき何も言ってなかったのおかしくね？学校に1巻だけあると言ってたが、それ何巻よ？」

飛鳥明日香：「アッテンボロー提督大活躍の回ですね」

GM：巻数は書いてないんですけど、読んだ感じ1巻じゃないですね

GM：さて水子先生から連絡が。「クロワゼの持続時間が分かった。1時間だ…それと、これは教えておこう…焼却炉の保安システムがハッキングされていたようだ」

佐藤釈迦：「あー、メールめんどくせーわ。これからお前の部屋いくから、お菓子用意しとけや。ねみーとユウリも呼んどけ」

飛鳥明日香：「ねみー！ ゆーりー！」

浅野寝生：「はーい」

飛鳥明日香：「おかしー！」

飛鳥明日香：「はーい（裏声）」

飛鳥明日香：という事で、明日香の部屋で会議が行われた。

浅野寝生：「ゆーりさんは部屋ノックしても返事なかったよ」

飛鳥明日香：「まあ、しょうがない」

佐藤釈迦：「こよりと飯食ってそういう話をきいたわけよ」

飛鳥明日香：「この本は」

飛鳥明日香：「when god cry の何巻からしいけど、こよりんは知らないふりをしているみたい」

浅野寝生：あれって中身に目を通してのリアクションで正しい？

GM：そうですね。中身を見せてもらってのリアクション

浅野寝生：表紙が焦げてて引いただけの可能性を見ていた。りょうかいつす

佐藤积迦：「きづかねーわけねーよな」

飛鳥明日香：「ファンだしね」

飛鳥明日香：「そして水子先生によると、何だか焼却炉の監視システムがほにやらしていたらしい」

佐藤积迦：「あー、だからあの野郎共がカメラに写ってなかったのか」

飛鳥明日香：「誰がやったんだろう。」

浅野寝生：「あの不良さんたち？」

飛鳥明日香：「例のイアンマクダミードかな」

飛鳥明日香：「不良さん達だとすると、彼等はそうまでして何を隠したかったんでしょうか。煙草？」

飛鳥明日香：「単純に喫煙事件でいいのか？」

浅野寝生：「そこまでするならもっと別の場所でも良さそうなのにねー」

飛鳥明日香：「やっぱ焼却炉と関係があるんじゃ」

佐藤积迦：「隣に物があって、焼却炉が近かったからかもしれないぞ」

飛鳥明日香：「ん？」

浅野寝生：「物？」

佐藤积迦：「焼却炉だろ？焼きたかった物が近くにあったんじゃないかね？ってことだ」

飛鳥明日香：「こよりんが、『前はあったけど、最近なくなった』って言ってたよね確か」

佐藤积迦：「あー、本の話か？言ってたな」

水飛鳥明日香：「持って来て燃してたんじゃないかな」

佐藤积迦：「この本そんなだるいことする価値あんのか？」

飛鳥明日香：「現にこれは燃やされかけてるし、なくなった本とこの本が合致する何かが見つかればほにやらなんだけど」

浅野寝生：「じゃあ別のものが既に焼かれていたりして？」

飛鳥明日香：「別のもの？」

浅野寝生：「なにというあてのある話じゃないけど、本じゃないならーって考えるとというだけ」

佐藤积迦：「焼却炉見に行くか？ 痕跡が残ってるかわかんねーけどな」

飛鳥明日香：「焼却炉は調べたけど何もなかったぜよ」

飛鳥明日香：「まあ、水子先生に報告しとく？ 上手に焼けました！ 本が！ って」

佐藤积迦：「適当にたのむわ」

飛鳥明日香：「図書室から when god cry 消失♪ 焼却炉でその本焼失♪」

佐藤积迦：あれ、図書館からきえたの？

佐藤积迦：街全体から減ってきたのかと思ってた

飛鳥明日香：「生徒からニコチン検出♪ あてにならない供述♪」

GM：街全体から消えてたらしいよ。

佐藤积迦：ですよね。

佐藤积迦：それならまあ焼却炉でごっそり焼いた可能性はありますね。

GM：学園の図書室は1巻だけ置いて気が変わったんだと思われる。

飛鳥明日香：「なんだそうか」

飛鳥明日香：「じゃあ、要するにこの本は焚書の憂き目にあっているわけだ」

浅野寝生：「ただの小説にしか見えないのに」

佐藤积迦：「その可能性がたけーなー。意味がわからんが、こよりに関連してるならクロワーズに関係ありそうだ」

飛鳥明日香：ネットで when god Cry について調べてみよう。

浅野寝生：amazon のレビューを見よう

GM：when god cry ☆5のレビューと☆1のレビューがいっぱい。平均☆3。現在注文できません。中

古品：20000円～

飛鳥明日香：うーん。作者は？

GM：錬金術師08 とか書いてある

飛鳥明日香：錬金術師08か。

浅野寝生：錬金術師08のほかの作品はどんな状況でしょう

GM：どれも似たような感じですね。でも他の作品は売り切れてない。中古も安い。

飛鳥明日香：「なんだろうね。この……何？ 中古の価格の高さは」

浅野寝生：「結構な規模でレアになってるんだろうねえ」

小洒落た喫茶店にて（カフェテリア・バンド・デシネー）

カフェテリア・バンド・デシネーは学園都市の中央通りの正門近くにある建物の1Fにある洒落た雰囲気
の漫画喫茶だ。通りに面した窓は大きなガラス張りになっており、外から学校帰りの生徒や街の住民がく
つろいでいるのが見える。

「いらっしゃいませ、こちらは全席禁煙となっております。ご利用の人数は何名様でしょうか？」

エプロンをつけたウェイトレスがにこやかに応対してきた。

飛鳥明日香：「六人です」

飛鳥明日香：「あ、五人だわ」

ウェイトレス：「かしこまりました、ではこちらのお席へどうぞ」

黒羽こより：「私本取ってくるから、パソコン立ち上げといてね」

浅野寝生：「ぱしり！」

浅野寝生：「了解でございます」

飛鳥明日香：「僕も本とってこよ」

浅野寝生：「さて、あすかくん、立ち上げてなに」

飛鳥明日香：「打ち上げの仲間じゃね？」

浅野寝生：「パソコンで打ち上げ…」

飛鳥明日香：「とりあえず電源入れてから考えよう。ぼち（じゃーん）」

浅野寝生：「そこが電源スイッチなんだー」

飛鳥明日香：「アナログ人間だな、さては」

PC：「ごきげんよう」

小篠憂里：「うわ！ 喋った！？」

飛鳥明日香：「タイが曲がっていてよ？」

PC：「このパソコンは音声入力システムを搭載しています。ご用件をおっしゃってください」

浅野寝生：「パソコンを立ち上げたいです」

PC：「パソコンはすでに立ち上がっております」

浅野寝生：「なんと」

小篠憂里：「立ち上がる＝電源が入る。って意味だよ」

飛鳥明日香：「たちあがーれーたちあがーれーたちあがーれーパソコン！」

飛鳥明日香：「なんだ。そうならそうといってほしいよね、こよりんも」

浅野寝生：「そんな用語をさらりと指示していたのか、おそろしいやつめえ」

飛鳥明日香：「昨日調べられなかった共犯者について調べようぜ」

飛鳥明日香：「嫌奈奴男だっけ？」

浅野寝生：「いやなやつみたいな人」

浅野寝生：「あなやつ？あなつや？」

GM：学内のパソコンとは違うので、生徒の情報にはアクセスできませんね。本名で検索するぐらいしか。

飛鳥明日香：イアン・穴都谷！

浅野寝生：「ネットでぐーぐる検索とかいうのをすればなんでもわかるんでしょー」

浅野寝生：本名検索でw

小篠憂里：「いや、ぐるには対応してないと思うよ。多分

飛鳥明日香：「イアン・穴都谷について！」

浅野寝生：「あと知恵袋っていうので質問すればわかるって聞いたことが」

飛鳥明日香：「おばあちゃんの知恵袋じゃない？」

GM：本名を検索すると、プライバシー保護の観点による申請があったため、検索結果から〇〇件のページを除外しました なる表示が下の方に

飛鳥明日香：「プライバシーを保護するんだってさ。」

飛鳥明日香：「きっと絶滅危惧種なんだ」

浅野寝生：「立派だなー」

GM：しかし君らはイアン・穴都谷の卒業写真なる一文を見つけた

飛鳥明日香：「お！」

飛鳥明日香：「見てみよう」

浅野寝生：「あったの!？」

浅野寝生：ページをひらく

GM：注意：このページはコンピュータに損害を与える恐れがあります とリンクの下に書いてある。

小篠憂里：ウィルスの混入があり得るのですか

浅野寝生：「ゆーりさん、これ開いて大丈夫なやつ？」

浅野寝生：釈迦殿来てから、とかでもいいのかなー

飛鳥明日香：「なんでもシュガーに頼っていいのかっ！」

小篠憂里：「ヘブンくんだったら容赦なく行けるけどなあ…。」（腕を組みながら）「私、空間移動には長けてるけど」

小篠憂里：いや待てよ

飛鳥明日香：「あんまり頼ってばかりだと、ストレスではげるぞヘブン君が！」

浅野寝生：「彼にはもうっ、髪がっ・・・」

GM：とまあそうしてる間にこよりが帰ってこないわけですが

浅野寝生：「開いちゃおっかなー」

飛鳥明日香：「これパソコンに損害が起こっても別にかまわないじゃん、うちのじゃないし」

浅野寝生：「こよりさんおそいね」

飛鳥明日香：「ちょっと探してくるか」

小篠憂里：「明日香ちゃん、ストップ」

浅野寝生：「うちのじゃないからとんでもない請求されそうで怖いんだよね」

小篠憂里：「さっきは無理だったけど、何処にいるかなら分かるかも」

浅野寝生：「探しにいかないの？」

飛鳥明日香：「探してくる。」

飛鳥明日香：「野球狂の豚……はちさん……男ド阿呆後樂園。。。」

小篠憂里：「情報化スキルで感覚だけ探そうと思ったのに…」

浅野寝生：「近くだからがんばらなくてもいいんじゃないー？」

GM：情報化スキルで覗くのはOKだけど、どこを覗くかは指定しないとイケないですよ

小篠憂里：つまり探しに行けないのか…。トホホ

飛鳥明日香：「こよりーん！」

GM：つまり、何度も覗かないとたぶんどんぴしゃで見つからない

飛鳥明日香：「いないな」

飛鳥明日香：「SFものの棚かな」

浅野寝生：トイレかしら

GM：明日香とネミーはこよりの声が誰か男の声と口論しているのが聞こえた。

浅野寝生：「なんだか陰悪な空気がむこうから…」

GM：「タバコが…When god cryが……とか聞こえてきますね」

飛鳥明日香：声のする方へ！

飛鳥明日香：抜き足差し足

浅野寝生：こっそり接近・様子を伺う

GM：隠れるならもう人間力判定！

飛鳥明日香・浅野寝生・小篠憂里：（ダイス判定）

GM：ふむ、口論は続いているが、少しトーンが下がったようだ。

浅野寝生：「（気付かれた？）」

GM：スキルで覗くなら今なんじゃないですかね

GM：場所が分かったわけなので。

小篠憂里：「（んじゃちょっとくらしてきますから。私の身体をお願いしますね）」

浅野寝生：「（偵察まかせたー）」

浅野寝生：ところで口論現場と我らの距離はどの程度？

GM：15mぐらいですかね

浅野寝生：ゆーりさんで2m距離まで近づけるわけか

GM：2mの距離で聞けばほとんど聞こえるだろう

GM：その頃、カフェに入ってきた釈迦くんにウェイトレスが「ご注文の品をお届けしてきました」と話しかけて去っていった

こより「god may cry は頼んだけどタバコはいらないうって言ったでしょ」

男「そんなこと言ったって前は受け取ったじゃねえか」

浅野寝生：「（なんて言ってるんだろう、大丈夫かなー）」

GM：二人は1分ほど口論を続けましたが、周りが気になるのかやめて分かれていきました

浅野寝生：見つかる前に戻ります！

飛鳥明日香：角で脅かします

小篠憂里：「（…気になる事山積みだけど、そろそろ戻るか）」（寝生くん、私を背負っというて）

飛鳥明日香：わっ！ って。

佐藤积迦：男の顔をこっそり写真にとりたいんですが

GM：まず先にヘブンのほう処理

GM：方法は？スマホのカメラみたいなの？

佐藤积迦：特に準備してないしそんなやつで。音消してことでもいいすかね。

GM：距離は15メートルぐらいですよ

佐藤积迦：お互い知らないから関係ない振りして近づきます。

浅野寝生：有能だ！

GM：こっそりできるかは人間力判定だなー

浅野寝生：あらら

佐藤积迦：先に能力でUPしていいですか？

GM：いいですよ

佐藤积迦：god 积迦になりました。

GM：ドーピングめ

佐藤积迦：（ダイス判定）

GM：3D6

ダイス判定：(3D6) → 15[4,6,5] → 15

浅野寝生：つえええ

小篠憂里：流石

佐藤积迦：1分だけね！

GM：どうやら気づかれなかったようですれ違った。

佐藤积迦：顔がちゃんと映ったかは別判定ですかね？

GM：いやそれは映った事にして良いよ

佐藤积迦：では、後でこの顔で検索をかけることにします。

こよりの興味の目標物（ターゲット）

GM：さてどうします？

GM：こよりをおどかしか

黒羽こより：「きゃ、きゃあっ！」

飛鳥明日香：「どわー！」

佐藤积迦：（あいつら何してんだ？）

黒羽こより：「な、なによ一体……（汗）」

飛鳥明日香：「ダメだよこよりん、こういう場所では静かにしないと」

黒羽こより：「し、静かにしてるわよ……」

飛鳥明日香：「ならいいんだ。本は見つかった？」

黒羽こより：「あったわ、重いから一冊だけ取った。他の人に別の巻取られないといいけど……」

飛鳥明日香：「どこにあったの？」

黒羽こより：「ミステリーの棚よ」

飛鳥明日香：「他にもあった？」

黒羽こより：「うん？他？私他の作品には興味ないから」

飛鳥明日香：「いやいや、他の巻。あるならとってくるよ」

黒羽こより：「あ、じゃあ3巻から7巻まで全部お願いしたいわ…あ、でも時間的に読みきれないから5巻まででいいわ」

佐藤积迦：そんなことをやってる裏で、私は憂里に小声で話しかける

佐藤积迦：「ＹＯ、お前奴を尾行してこいつて」

小篠憂里：「こよりちゃんを？ 私、結構怪しい人物と思われてる気がするけど」（小声）

佐藤积迦：「いや、こよりじゃない、男のほうだ」

佐藤积迦：「お互いつらしらねーんだ、多少近づいても漫画でも探してるふりしてればばねーよ。いざとなったら跳べばいいだろ？」

GM：男は店を出て行きますね。

浅野寝生：「出ちゃったかー」

飛鳥明日香：とにかく誰か追おう。

浅野寝生：「じゃあ尾行してくるわー」

小篠憂里：「きをつけてねー」

佐藤积迦：すぐ出れるように俺がネミーの会計をしておこう。

浅野寝生：店員に挨拶して店から抜けます

浅野寝生：おごりおごり

佐藤积迦：ウェイトレスのねーちゃんにちょっと話しかける

ウェイトレス：はい、なんでしょう

佐藤积迦：「そういえばさっきでてったにーちゃん、タバコ吸ってたみただげ、ここ喫煙所もあんの？」

ウェイトレス：「お客様、ここは『学園公認喫茶店』でございます、喫煙はご遠慮願っております」とウィンクして去っていった

佐藤积迦：表情は普通でしたかね。

GM：普通の笑顔だけどちょっと馴れ馴れしい感じ。

佐藤积迦：男とは無関係かな。あとは適当に撮った写真の顔から名前その他を割り出す作業をします。こ

よりは他の人に任せる！

GM：さてこよりは席に戻ろうとしてますが。

飛鳥明日香：僕はミステリーの棚を検索中

小篠憂里：私は歴史モノを探しに。タイムスリップ系を

浅野寝生：お外で尾行中

飛鳥明日香：こよりノーマーク！

GM：じゃあこよりは先に席に戻るのか……わかりもうした

小篠憂里：……誰もこよりを見てないww

浅野寝生：へぶんさんはこよりから離れた位置？

佐藤积迦：これ個室じゃないですよ。全部オープンスペースなんですか？

GM：個室です。君達は6人とかいったからそこそこのブース。

佐藤积迦：6人部屋があるのか。すごいな。

佐藤积迦：自分の部屋でこよりに画面を覗かれない位置ということで。

佐藤积迦：こよりが近づいてきたらエロサイトを写します！

小篠憂里：oo

GM：エロサイトを見ているへブン君の横でこよりは本を読んでいます。

佐藤积迦：隣かよ！

GM：いや120度ぐらい離れてるので大丈夫だ

GM：顔で検索するんだっけ

佐藤积迦：はい。

GM：へブンの情報力を持ってすれば見つかるな。この顔は確かにイアン・穴都谷ですね

浅野寝生：判定なしとはすごいなハッキング

飛鳥明日香：ハッキングの王。

飛鳥明日香：ハッキンキング。

佐藤釈迦：「（あ？この名前って、不良どもにタバコをくばったとかいう奴だよな・・・）」

飛鳥明日香：「ただいま」

黒羽こより：「本ありがとう」

飛鳥明日香：「結構重かった」

佐藤釈迦：「おい明日香、このエロサイトやべえぞ、まじでやべえ、ちょっとみろや」と言ってイアンの情報が出てる画面を見せる

黒羽こより：「エ、エロサイト…（聞こえない振り）」

飛鳥明日香：「え、まじで」

飛鳥明日香：「！」

黒羽こより：こよりちゃんは絶対そっちの画面は見ないように固まってるので二人で楽しんでてください

飛鳥明日香：「（こよりんとタバコ密売人は接点があるのか）」

佐藤釈迦：「どうよ、ちょっとやばくね？ネミーにも教えるか、メールメール」

浅野寝生：セクハラが過ぎますね！

小篠憂里：「あー、駄目ね。此处には帝都も時空放浪もなかったorz」

小篠憂里：本を探して戻ってきた。今w

佐藤釈迦：憂里にも同じように画面を見せておきます。

佐藤釈迦：エロサイトっていわないでちょっとこれみろやで

GM：戻ってきたら男二人がエロサイトならぬイヤナヤツの情報を見てます

飛鳥明日香：「すげー、金髪美人が裸で洗剤パスタ食べてるー（棒読み）」

小篠憂里：「……………うわ」（小声でドン引きします）

GM：こよりは本を読んでいるようだ！

GM：さてネミーさん

浅野寝生：はい

GM：尾行できるか人間力判定

浅野寝生：携帯はマナーモードに変更していいですか

浅野寝生：（ダイス判定）

GM：いつの間にか巻かれましたね…

飛鳥明日香：しょぼーん

浅野寝生：どのぐらいの距離追跡できました？

GM：100メートルぐらいだ、角を曲がったところの先が複雑でそれ以上追跡できなかった。東の方に向かっていたようだが、特に目立つ建物は無い

浅野寝生：失敗したとメールで連絡して漫画喫茶へ帰還します

飛鳥明日香：かえっておいでー

佐藤积邇：「（まあ、そりゃそうだろうな）」

GM：じゃあネミーは帰ってくる、こよりは本を読む、3人はパソコンを見ている

浅野寝生：「パソコンで何みてるのー」

GM：そうして時間が過ぎ。帰宅しようとこよりが言い出します

佐藤积邇：「あ？もうそんな時間か」

佐藤积邇：「飯どうするよ、外でくってくか？」

浅野寝生：「みんなが行くなら行くけど」

小篠憂里：「私もついて行きます」

飛鳥明日香：「僕、昨日作ったおじやの残り食べないと」

GM：さて、外に出ようと会計をするのですが、ヘブン君だけ会計が馬鹿高い。

佐藤积邇：エロサイトか

佐藤积邇：いやまさかタバコ代？

GM：「特別サービス：10000円」とレシートに書いてある

飛鳥明日香：ウイंक代じゃないの？

佐藤积迦：とりあえずおねえちゃんに笑いかけながら払っておく。

佐藤积迦：何かくれませんか。

GM：いや、何もくれなくていいです

浅野寝生：そういう流通ルートじゃないのか

佐藤积迦：は、ただのぼったくりにひっかかっただけか！

GM：文句をつけなければ、そのまま何もなかったように会計は終了してしまいますが

GM：ちなみに他の人たちはマトモな値段ですよ

飛鳥明日香：付けろ！ クレームだ！クレイマー！

小篠憂里：私はクレマーになりたくないのでパス

浅野寝生：「なんでしゅがーくんこんな高いの？なんか頼んだ？」

佐藤积迦：公認喫茶なら変なぼったくりはしないとしようしなー。ココは払ってあとで先生に請求する

GM：ふむ、それでは……10000円払って優良客になりました！

飛鳥明日香：ぱぱーん（ぱちぱちぱち

佐藤积迦：ほんとに何もなかったら後でこの店のシステム壊しておくわ

小篠憂里：なにかサービスきますか？

GM：何もなかった

佐藤积迦：1週間後から全力！

浅野寝生：悪魔の標的になってしまった

交叉する風のクロワーゼ

GM：さて、月曜日。君達はクロワゼについて議論していた。

GM：さて問題です！クロワゼとはなんですか？

佐藤积邇：「よくわからん」

浅野寝生：「場所と時間と人物と行動があるらしい」

飛鳥明日香：クロワゼとは4つの原因からなる哲学的に証明されたなんとか

浅野寝生：「けどどう特定するもんなんだろうねー」

GM：さて、そのうち一つは判明していますね

浅野寝生：こよりんこよりん

佐藤积邇：「時間もてきとうにわかってなかったか？」

GM：水子先生が1時間ほどの持続と言っていましたね

飛鳥明日香：「こよりんが一時間かけて何かをするわけだ」

佐藤积邇：「あー、あれって誰がいつどこでなにをするやつなのか？」

飛鳥明日香：「ある日（時間）森の中（場所）くまさんに（人物）出会った（行動）」

GM：人物…？

浅野寝生：人物は目的語になるべきなのか主語になるべきなのか…

飛鳥明日香：「こよりんが女の子か、もしくはクマさんかって話だよ→目的語主語」

佐藤积邇：「とりあえずセンコーから諭吉まきあげようぜ」

飛鳥明日香：「あの諭吉も謎だよ」

浅野寝生：「ぼったくり喫茶もシメてもらおう」

水子：「なんだ？1万円とは」

飛鳥明日香：「あ、1万円と言うのはですね、一円が1万個集まったもので、大体福沢諭吉の書かれた紙切れ一枚であらわされます」

佐藤积邇：「経費かかったわ。1諭吉くれ」

飛鳥明日香：「漫画喫茶でぼったくられました」

水子：「何？どこの店へ行ったのだ？」

佐藤积迦：「なんとかって店だぜ？」

飛鳥明日香：「なんとかなんとか。」

水子：「それじゃわからん。」

浅野寝生：「カフェテリア・バンド・デシネーというお店ですよ」

水子：「……ぼったくりをするような店とは知らなかったが。何か心当たりでもあるのではないのか？」

佐藤积迦：「しらねえわ……そういえば、なんかご注文のしなを届けておいたとか言われたけど何ももらってねーぞ」

飛鳥明日香：「何かご注文したの？」

佐藤积迦：「到着したばかりだったぞ？」

水子：「ふむ……密売人のような台詞だが……それはカフェテリア・バンド・デシネーの店員が言ったのか」

飛鳥明日香：「そうです。デシネーの人でしねー」

佐藤积迦：「そんなのしらねーわ。ご注文の品とかいうから店員じゃねーの？」

飛鳥明日香：「あの人店員じゃなかったのかしら」

浅野寝生：「なににせよ、とりあえず経費分を頂きたいわけです」

佐藤积迦：「つってもなあ、顔もおぼえてないぞ？」

水子：「……調査しておこう。その代金は学園調査費から出るから、数週間待ちなさい」

飛鳥明日香：「利子はつくんですか？」

水子：「残念ながらつかないな」

飛鳥明日香：「そうですか…（しょぼーん）」

佐藤积迦：「おい、明日香は払ってねーだろ」

飛鳥明日香：「そういえばそうだっけね」

佐藤釈迦：「んで、クロワーゼの話は？」

浅野寝生：「そーそーくろわーぜ」

浅野寝生：クロワーゼの過去の条件を知りたい。そもそも前にもクロワーゼってあった？

水子：「クロワーゼの4要素は毎回別のものになる」

水子：「クロワーゼが近づいているのを感じる。クロワーゼは全ての出来事に働く引力だ。小さな出来事にも意味があると知りなさい」

飛鳥明日香：「こよりんが煙草生徒とかかわりがありそうなのも？」

水子：「何？黒羽こよりがタバコだと？」

飛鳥明日香：「あの例の何とか言う人と密談してましたよ。なんだっけ。ダメよダメダメみたいな名前の生徒」

飛鳥明日香：「イヤン・ダメダメだっけ」

佐藤釈迦：「あーそんな名前だったわ」

浅野寝生：「アナツヤだってば」

浅野寝生：「イアンとかいう人がタバコの流通に関わってるって聞いたけど、それについて調べはついたんですか？」

水子：「イアン・穴都谷と黒羽こよりが接触していたのか。それはまずいかもしれんな…」

佐藤釈迦：「奴らになんかあんのか？」

浅野寝生：「イアン氏はなんなんですか？ 危険人物？」

飛鳥明日香：「イヤン・ア〇〇〇とこよりんが接触……」

浅野寝生：「なぜ伏せた！」

飛鳥明日香：「いやらしいかと思って」

浅野寝生：「余計に不穏な響きになってるよ・・・」

水子：「穴都谷は一般生徒だぞ。しかしどうも落ちこぼれでな。ヴォルテックスラムと接触した形跡があ

るが、中々問い詰めても本音を出さないのだ」

浅野寝生：「形跡あるなら十分ブラック寄りのグレーってわけですね」

佐藤积迺：「つーか、そいつタバコばら撒いてるんだろ？学校でタバコはまずいんじゃないの？」

飛鳥明日香：「ヴォルテックスラムと接触して煙草ばら撒いているのか……」

水子：「喫煙していたものたちはそう証言しているが、現場の証拠があるわけではないぞ」

浅野寝生：「学園側で尾行調査とかしないんですか」

浅野寝生：「タバコっていう別件でも十分に学園が動く理由にならない？」

浅野寝生：「ってというか動けよと思ったり……」

水子：「お前達も知っているとおりに、生徒の携帯のGPSは学園側のシステムと繋がっている。」

飛鳥明日香：「（そうだったんだ……）」

佐藤积迺：「（知らなかったぞ……）」

浅野寝生：「その情報が正しくて、ちゃんとチェックしてるんだったらこよりさんとの接触もご存知だったんじゃない？」

飛鳥明日香：「（ネミーが冴えてる）」

水子：「また、学園内にはカメラも多数配置されている。しかし映像があったとしてもビデオの目視で現場を確認するのは大変な事だ。」

浅野寝生：「（案外学園内で悪いことしてもばれなさそうだ）」

佐藤积迺：「とりあえず、イアンとこよりの場所を俺らでも見れるようにしてくれない？」

水子：「イアンとこよりが接触していたなら…わかった、佐藤にシステムの閲覧を許可しよう」

佐藤积迺：「おう、さんきゅー」

佐藤积迺：「とりあえず今何処にいるかみてるかー（ぼちぼち）」

GM：二人とも学園内のようですね。今何時ごろだろう。昼休みにするか。

GM：こよりは教室で弁当、イアンは外かな

浅野寝生：「黒い噂はあってもまじめに登校してるんだね」

飛鳥明日香：「偉いね」

GM：出席日数が。

浅野寝生：「もういっそのことイアン氏も部活に勧誘してみる？」

佐藤积迺：「こよりにイアンのこときくことはできねーのかな」

飛鳥明日香：「聞いて見てもいいけど本当のことを言うかどうかは…」

飛鳥明日香：「本当か嘘かを見抜ける眼鏡が有ったらしいのに……」

佐藤积迺：「あれだろ、こっそり人つかってきけばいいんじゃないね」

飛鳥明日香：「誰かに頼むのか?。」

浅野寝生：「こよりさんに話掛けるようなちょうどいい人材いたっけ…?」

飛鳥明日香：「でも僕友達いないよ?」

佐藤积迺：「イアンといっしょのところみたけどつきあってるのー?とかその辺の女にきかせればいいとおもうぜ」

飛鳥明日香：「その辺の女（ネミー）」

浅野寝生：「!」

佐藤积迺：「ネミーは面識あるから警戒されるとだるくねえ?」

浅野寝生：「変な仲違いはしたくないねえ」

飛鳥明日香：「でも、君たち知り合いにそんな都合のいい女子いるの?」

GM：ちなみにGPSのログで、入学してからの全ての位置情報が手に入りますよ

GM：携帯を身に付けていない時はだめだけど

佐藤积迺：ひどいストーキングツールだった

浅野寝生：有能システムなのに何故活かされていなかったのか!

佐藤积迺：じゃあ二人の履歴で同じ座標に居るところを洗い出すか。

水子：「善良な生徒をストーキングするものではない!」

飛鳥明日香：「（先生は悪女がお好き）」

浅野寝生：「（人に調査依頼出しておいて何いってんだこの人）」

GM：データですぐわかりますが、10回ほど会ってるようですね。接触しだしたのがここ1ヶ月で、3日に1回ほどでしょうか

佐藤积迦：「おいおい、頻度たけーな」

浅野寝生：「これは私が聞いても不自然じゃないくらいかなあ？」

GM：接触場所の殆どがカフェテリア・バンド・デシネーですね

佐藤积迦：「なんだここ、密会場かよ」

浅野寝生：「しゅがーくん拗ねるなって」

飛鳥明日香：「（しゅがーくんイヤンが好きだったのか……）」

佐藤积迦：「（こいつ等変なこと考えてんじゃねーか……）」

浅野寝生：「会ってる時間はどのくらいなの？」

GM：こよりは2時間とか滞在することが多いけど、イアンは30分ぐらいの場合が多い。

GM：む、シュガーくん異能力判定

佐藤积迦：（ダイス判定）

GM：イアンのカフェテリア内の位置情報に違和感を感じるけど良く分からない。

佐藤积迦：「イアンの場所がなんかへんだが、よくわかんねーな」

浅野寝生：「位置情報までわかるんだ」

飛鳥明日香：「へん？」

佐藤积迦：人間力が高い人たちに見せたら判定してもらえますかね。

GM：ハッキング能力がない人に見せて理解できるような視覚化ツールでも探してもらいましょうかね

GM：異能力判定で

佐藤积迦：（ダイス判定）

浅野寝生：ヘブンさんは位置情報を座標とかの文字だけで把握してたのか

飛鳥明日香：それはすごい

浅野寝生：「すげえー」

佐藤积迦：天才だからな！

佐藤积迦：「これなんだが、どうよ？」

GM：イアンが位置情報が3Dモデリングでカフェテリア・バンド・デシネーのグラフィックとともにプログラムに映し出される

GM：他の二人も人間力判定

飛鳥明日香・浅野寝生：（ダイス判定）

GM：ネミーはイアンが地下にいるように感じるが、地下なんてあったっけ？思い出せない。

浅野寝生：「地下っぽくない？」

飛鳥明日香：「地下？」

佐藤积迦：「は？地下？」

浅野寝生：「なんかこう、地上じゃない感じ」

飛鳥明日香：「それは確かに地下だわ。」

佐藤积迦：「あー、こよりは地上だよな？」

GM：こよりは地上ですね

佐藤积迦：「これ、会ってるのか会ってねーのかわかんねーな。まあ地下になんかあるのか」

浅野寝生：「地下あったっけあの店」

GM：地上で同じ座標にいることも多いので、会ってはいそうですね

GM：さて、水子先生から少し話が

飛鳥明日香：「水子先生からのお話です。水子先生お願いします」

浅野寝生：善良な先生からのお話

水子：「そういえば焼却炉のカメラ映像が改竄されていた件なのだが、どうも直らないのだ、困ったものだ」

飛鳥明日香：喋り方がハム太郎みたいなのだ

佐藤釈迦：「あ？俺がなおしてやろうか？」

水子：「頼めるか？」

佐藤釈迦：「おう、じゃあ後でいくわ」

浅野寝生：「直す担当は水子先生なの？」

GM：保安担当みたいです

浅野寝生：学園で雇われたプロは起用されてないのか

飛鳥明日香：ヒント・財政難

GM：ある意味本人がプロ

浅野寝生：プロ<釈迦

浅野寝生：いいのかプロ

GM：異能力17の変人だから仕方ない。

飛鳥明日香：ヘブンは天才だから……（小声

GM：ヘブンが焼却炉、ネミーが部室でいいのか。

飛鳥明日香：「れっつらごー」

佐藤釈迦：「んじゃあいくかー」

GM：黒羽こよりはいつものように本を読んでいるようです

浅野寝生：「ねーねーこよりさん今よろしくてー？」

黒羽こより：「うん？何？」

浅野寝生：「なんか最近こよりさんが例の漫画喫茶で、殿方と会っているとかって噂聞いたんだけど」

浅野寝生：「おつきあいしてる人でもいるのー？」

黒羽こより：「え……い、いや、見間違いじゃない？」

浅野寝生：「んー、漫画喫茶の住人みたいな友達が何度か見てたって言ってたけど、ホントにー？」

黒羽こより：「私が付き合っている人はいないわ。付き合うとしたら……そうね、この巻に出てくるキャラクターみたいな（瀧蓄）」

浅野寝生：「ほー、付き合っていないと。会ってることは会ってるわけかな？」

黒羽こより：「……ひょっとして、昨日一緒に行った時に何か見た？」

浅野寝生：「お、昨日も会ってたの!？」

黒羽こより：「い、いえ……たまたま同じシリーズの読者に会ったから、意気投合してたのよ」

浅野寝生：「ほうほう、良いことで……。その人はどんな人なの？将来有望そう？」

黒羽こより：「あれはダメそう…だけどわからないわ」

浅野寝生：「まあ相談あったらいつでも乗るよー」

浅野寝生：と言って昼寝に移行します

GM：んじゃ、明日香とヘブン

佐藤积迦：「おう、先生、きたぜ」

GM：焼却炉で水子先生が脚立に乗ってカメラをいじっています

飛鳥明日香：「脚立揺さぶって見る？」

佐藤积迦：「気付いてないのか、ゆらしてみ？」

飛鳥明日香：ぐらぐら

水子：「ああ…佐藤と飛鳥か。ちょっと待ってくれ、このケーブルがこうで、うーん、合ってるんだがな…」

佐藤积迦：「物理的なものじゃないんじゃないか？」

浅野寝生：動じてない!

GM：足元が揺れても動じない水子先生

水子：「やはりシステムだろうか…このノートパソコンに管理プログラムがあるから、ちょっと見てくれないか」

佐藤积迦：「おう」

GM：と言っていると、背後で大きな音が。

GM：ガゴン！

飛鳥明日香：「脚立が倒れた？」

佐藤积迦：「んだ？」

GM：どうやら焼却炉が動き出したようです

水子：「ああ…焼却の時間か、3時30分だ」

飛鳥明日香：「三時三十分になると焼却するのか」

GM：どうやら焼却時間が決まっているようですね

佐藤积迦：「この前の不良がきたのは何時っけ？」

飛鳥明日香：三時間目。

飛鳥明日香：つまり1030～

佐藤积迦：朝か

浅野寝生：金曜の3時30分以前の記録で本を持ってきた人がわかりそうだ

佐藤积迦：「これ学園は焼却前にゴミあつめたりすんのか？」

飛鳥明日香：「（ゴミ集めないとするとなを燃しているんだ）」

水子：「各階のダストシュートからここにゴミが集まってくるのだ」

佐藤积迦：「ここまでこなくても捨てることはできんのか・・・」

水子：「だからほら、ここは天井に大きな換気システムがあるだろう」

佐藤积迦：「まあいいや、調べてみるぜ」

GM：じゃあヘブン君はハッキングで異能力判定

佐藤积迦：（ダイス判定）

GM：やはりハッキングされた後がある。ヘブンの力で何とかなりそうだ。

GM：正常に作動させるようにはできたけど、これまでのデータを復元はできなかった。

佐藤积迦：「とりあえず直ったぜ」

佐藤积迦：「これダストシュートの監視とかはないのか？」

水子：「ありがたい、助かった。何者がハッキングしたのか…ダストシュートか、カメラはあるぞ」

佐藤积迦：「本大量にすててるやつはいねーかな」

飛鳥明日香：「どれどれ……？」

GM：カメラの映像は、見ることはできるのですが、リアルタイムのものでありますから、かなり時間かかるんですよ。

飛鳥明日香：早送る。

GM：ダストシュートは全部で12個あります。早送りで頑張る？

飛鳥明日香：「どうする？」

浅野寝生：データもらってみんなで鑑賞会できたりしない？

佐藤积迦：「それぞれのダストシュートにつっこまれたゴミの重さとか統計とってねーかな」

GM：鑑賞会は、許可を取ればできるけど、重量は測定してないですね

佐藤积迦：「じゃあ一応許可だけとっておこうぜ、やるかどうかは時間があればとてこか」

飛鳥明日香：「じゃあそれで」

佐藤积迦：「あー、この前不良がきたときの、焼却前のだけ今みようぜ」

佐藤积迦：「あの時本がおちてたんだよな？」

飛鳥明日香：「そうでしたね」

水子：「喫煙生徒を捕まえる前の最後の焼却時間は金曜日の3時30分、その後の焼却時間は…む、すぐか。11時30分だ。この間の時間の映像を見るのか？」

飛鳥明日香：「見ま見ま」

GM：ちなみに下校時刻が18：00で、消灯するので、その間は暗くて見えません

佐藤积迦：「あー、その辺でたのむ」

水子：「金曜日の15：30～20：00と、土曜日の4：00～11：30分のダストシュート12箇

所のデータでよいか？」

飛鳥明日香：いえす

佐藤积迦：「おう」

水子：「まあ下校時刻の後に侵入者がいたら検知されるはずだ。では、よろしく頼む」

飛鳥明日香：さて、そこに映っていたものとは……！！

VIDEOチェックの達人（マエストロ）

GM：全部で延べ何分なんだろう？

GM：4人だと36時間ずつ

浅野寝生：12倍速で3時間ですね

飛鳥明日香：三十六倍速で一時間だ。

佐藤积迦：まあ大量の本がみえるかどうかだから、出来るだけ速い速度でいいか。

GM：30倍は気づかない気がしますよ

佐藤积迦：10倍くらいですか

GM：じゃあみんな、人間力判定！

浅野寝生：8 + 3D6

ダイス判定：(8 + 3D6) → 8 + 11[1,5,5] → 19

飛鳥明日香：10 + 3D6

ダイス判定：(10 + 3D6) → 10 + 11[1,5,5] → 21

佐藤积迦：3D6 + 3

ダイス判定：(3D6 + 3) → 10[1,4,5] + 3 → 13

小篠憂里：3D6+7

ダイス判定：(3D6+7) → 11[1,4,6]+7 → 18

GM：ポーっとしてそうな人がいますね、彼の担当に当たるか判定しよう

GM：1D4

ダイス判定：(1D4) → 3

佐藤积迦：ちょっと

GM：なんかシュガー君は途中で寝た気がするが、何も怪しいものは無かった。他の人も見つからなかった。

飛鳥明日香：「時間を無駄にした……」

浅野寝生：「担当した分はなさそうだったなー」

佐藤积迦：「……？ああ、おわってるわ。なにもなかったぜ」

飛鳥明日香：「寝てたでしょ」

小篠憂里：「ヘブンくん…（汗）」

佐藤积迦：「あ？いや寝てねーよ？疑うなら俺の分みてみろや？」

浅野寝生：3人で分担して見ていい？

飛鳥明日香：よーしいいか。

佐藤积迦：私は寝てます

浅野寝生・飛鳥明日香・小篠憂里：（ダイス判定）

GM：ほうほう…

飛鳥明日香：ほうぼう……（白身魚）

GM：憂里さんはシュガーくんが何も怪しいものがないと言っていたビデオに、本を大量に捨てている人影を発見した！

小篠憂里：「……………！！」

GM：そこに映っていた人物とは！

飛鳥明日香：とは！

GM：イアン・穴都谷その人であった！！（ひねりなし）

飛鳥明日香：な、なんだってー！

小篠憂里：なんてこった…

飛鳥明日香：イアン・ア〇〇〇が……

佐藤积迦：「……………いや、俺はちゃんとみたぜ？」

GM：へブンくんが見落とした監視カメラの映像に本を捨てていた人物が映っていたということですね

佐藤积迦：「いや俺みのがしてないし？」

浅野寝生：「私の担当分は問題なかったかなー。しゅがーくん疑ってごめんね」

飛鳥明日香：「僕の担当分は問題なかったわ。しゅがーくんそーりー」

小篠憂里：ドスツ（頭にチョップをして）「……だったら、これはどう説明するのですか？ へ・ぶ・んくん？」

佐藤积迦：「ぐあ……」気絶しました

浅野寝生：「ゆーりさんなんてことを」

GM：HP0か。

飛鳥明日香：「へブンくんがへブンに行ってしまった……」

小篠憂里：「大丈夫ですよ、一時間後にはきっちり目を覚めますから。これぐらいしないと反省してくれませんし」

飛鳥明日香：「さて。これからどうします？」

GM：さてそんな会話をしていると…

GM：大きな音で、校内放送が流れます

飛鳥明日香：「びくっ！」

GM：「生徒指導室の鍵が盗難に合いました、心当たりのある方は至急経師に連絡してください」

浅野寝生：「校内放送大きすぎー」

GM：「繰り返します、生徒指導室の～」

飛鳥明日香：「だいじょぶなのかこのセキュリティ」

浅野寝生：「穴だらけだよねえ」

飛鳥明日香：「セコム、してますか？」

小篠憂里：「……耳、キーンとなった」

佐藤积迦：「・・・うるせーな、ねてられねー」

浅野寝生：「きがついた」

飛鳥明日香：「はやいー時間だった」

浅野寝生：「生徒指導室の鍵が盗まれたんだってさ」

GM：そしてメールではなく、ヘブンの携帯に電話がかかってくる

佐藤积迦：「んだあ、こんなときに？誰だよ？」

小篠憂里：「ヘブンくーん、電話が鳴ってますよ」

佐藤积迦：誰からの着信かみます。

飛鳥明日香：「着信・ミチコ」

GM：水子先生ですね

佐藤积迦：「ちっ、しかたねーな」でます

水子：「聞いたと思うが、生徒指導室の鍵が盗まれた。それだけではなく、学校各所のシャッターがハッキングされている」

佐藤积迦：「おー、ざるだな。まじめに仕事しろよ」

浅野寝生：「セキュリティだめすぎない？」

水子：「それでもまだ食い止めたほうなのだ。なぜなら、生徒指導室には危険人物を収容していた」

飛鳥明日香：「生徒指導室って危険人物を収容しているのか……」

水子：「カフェテリア・バンド・デシネーの店長と店員。尋問していたのだがな…」

佐藤积迦：「んで、俺らはどーすんの？」

水子：「問題はここからだ。イアン・穴都谷が生徒指導室の鍵を持って逃げた。何か関連があるのかもしれない。見かけたら急いで捕獲してくれ。」

飛鳥明日香：「イアン・バカンを捕まえればいいのか。」

佐藤积迦：「結局あいつかよ。今どこにいるんだ？」一応自分でもGPSの情報を見てみます。

浅野寝生：「こよりさんもチェックしてみてー」

GM：GPSまでは狂っていないようです。イアンはちょうど下の階の廊下を動いてます。こよりは図書室っぽい。

浅野寝生：「それにしても今まで表立った動きしてなかったイアンさんが随分大胆な行動に出たものだよね」

飛鳥明日香：「床を破壊すればすぐだ！」

佐藤积迦：「こよりは図書室、イアンは下の廊下みたいだが・・・」

佐藤积迦：図書室は遠いの？

GM：図書室というかそこそこのかさの建物なんです、遠いですね

浅野寝生：建物として独立してる規模か

GM：イアンは高速で移動して階段の方に行ったようだ

浅野寝生：「図書室にも誰か様子見に向かったほうがいいのかな」

小篠憂里：「……二手に分かれるか」

佐藤积迦：「とりあえずイアンをつかまえばこよりは後でいいんじゃない？」

浅野寝生：「じゃあ急がないとね」

飛鳥明日香：「急ごう急ごう」

小篠憂里：「スピード勝負だ」

GM：階段のあたりにいたイアンですがまた廊下を逆の方向に走り出しています。結構速い。

佐藤积迦：「・・・ぜえ・・・ぜえ・・・いや、これ無理だわ・・・ついて・・・いけねえ」

飛鳥明日香：「これ思ったんだけどイアンの携帯をイアンが持ってるとは限らないよね」

佐藤积迦：はい

GM：別の人物が持っていたても、携帯の持ち主の情報として出てきますね

浅野寝生：「おとり？」

飛鳥明日香：「行って見たら携帯啜えて犬が走ってたとかないと目も当てられない」

GM：いじめっ子がキャッチボールしてるかもしれませんね

飛鳥明日香：「やっぱり二手に分かれるべきだ」

佐藤积迦：「……………俺もうはしれねえわ……………誰かたのむ」

小篠憂里：「ヘブンくんは休ませてあげましょ」

佐藤积迦：「おいせんせー、学校の監視カメラみれねえの？」

水子：「ああ、ちょっと待て……………どの辺を見ればいいのか？」

佐藤积迦：「あのへんだよ」

水子：「なんだと、お前達の近くに穴都谷がいるぞ、急げ！」

飛鳥明日香：「近くって」

佐藤积迦：「ああ？どっちだよ？」

水子：「この監視カメラが確かあそこだから……………男子トイレの方の階段を下に降りて1Fに行け」

飛鳥明日香：「ダッシュ！」

佐藤积迦：「っていつてるが、はしっていったほうとあってるのか？」

GM：合ってます

小篠憂里：GM、疾風の如くで何処まで縮められる！？

GM：とりあえず数回使うとイアンの姿が見える「可能性もある」

浅野寝生：「カメラで見えてるイアンがちゃんと本物だといいけど」

飛鳥明日香：「ボクやっぱり不安だから図書館行ってくるよ」

佐藤积迦：「はやくいけや、はえーんだから違ったらもどってこれるだろ」

佐藤积迦：自分はただ歩く！

飛鳥明日香：ダッシュ！

佐藤积迦：积迦は推定イアンの方へ歩きます

小篠憂里：「うん！ヘブンさんは後ろからついてきて！」

浅野寝生：「じゃあこよりさんの方に向かおうかな」移動スキルないからダッシュで

小篠憂里：「『風よ、渦を描いて我に力を。地を駆ける疾風の加護を齎したまえ』【疾風の如く】」

GM：憂里さんは空間移動2回でイアンを発見しました

飛鳥明日香：「あ、こよりんいた。」

追跡、死闘、そして涙

GM：よし、戦闘モード始めよう、と言っても状況が見えるのはヘブンと憂里だけなのですが

浅野寝生：図書室に向かっちゃったから仕方ない・・・w

佐藤积迦：電話していいなら電話しますが

GM：OK

佐藤积迦：では最初に図書室に向かったほう

佐藤积迦：明日香か

佐藤积迦：p r r r r r r r r r

佐藤积迦：p r r r r r r r r r r r r

佐藤积迦：「・・・早くでろや」

飛鳥明日香：「はい」

佐藤积迦：「おい、やつがいたぞ」

飛鳥明日香：「こっちもこよりん居たよ。代わる？」

黒羽こより：「何？電話？」

佐藤积迦：「あー、なんか図書室の？の方へいくみたいだから、なんかあってもいいようにしとけや」

佐藤积迦：「やつら早すぎて俺あついていけねえわ、じゃあな」

飛鳥明日香：「こんど飲みにいこうなー」

GM：学生さん、何を言っているんでしょう？

佐藤积迦：「ああいい・・・あ？」

飛鳥明日香：（紅茶）

黒羽こより：「紅茶に梅干を入れるのってどうかなと思うの」

飛鳥明日香：「……」

GM：じゃあネミーは迷ってるとして、憂里さんですね

小篠憂里：疾風の如くで此処まで追い付けました！

GM：そこから動いていいですよ

小篠憂里：「（とりあえず攻撃したいけど、先に事情を聞かないと後々叱られるのは嫌ですし）」前に進みます！

小篠憂里：距離幅狭めて一気に終わらせるんだから

GM：ok

小篠憂里：「そこまでです、イアン！！」（槍をすつと背中に回した状態で疾風の如くを解除）

GM：イアンは振り返って驚いたようだが、そのまま走っていく。

佐藤积迦：するーされたぞ！

小篠憂里：……………無視されるの本当に腹が立ちますね！

小篠憂里：移動して待機！

GM：じゃあイアンは走って逃げます

浅野寝生：高人間力だなー

小篠憂里：更に遠くなったし！！

浅野寝生：壁抜ければ先回りですよ！

佐藤积迦：ねみーに電話しよう

浅野寝生：「（あれ、ここどこだっけ。図書室ってそもそも行ったことないや）」

佐藤积迦：p r r r r r r r r r r r r r r r r

佐藤积迦：p r r r r r r r r r r r r r r r r

浅野寝生：「はいい」

佐藤积迦：「あ？寝てたのか？」

浅野寝生：「道に迷ってたー、状況はどう？」

佐藤积迦：「イアンがいたぞ、このへんから図書室の方向かってる」

浅野寝生：この扉はシャッター？ロックかかってる？

GM：それはロックかかってる。

佐藤积迦：「つーか、ネミーはどこにいんのよ？」

浅野寝生：「建物に囲まれてる。中庭？」

佐藤积迦：「ああ、じゃあ多分そっち行くわ、邪魔しとけ」

浅野寝生：「自分でもどうやって来たかわからないんだけど、建物は全部閉まってそう」

佐藤积迦：「建物の中はいれねーん？」

浅野寝生：「例のシャッターがあるみたい。開けられないなら、、どうしよう。壊してもいい事態なのかなあ」

GM：中々異能力で壊すには大変そうなシャッターですね

佐藤积迦：「まあ何とかしてくれや、じゃあな」

佐藤积迦：ぷつ

浅野寝生：指導室には窓かなんかない？

GM：あるけど、鉄格子がついてる。

浅野寝生：じゃあ中見えるからスキル当てるのは可能ですね？

GM：見えなくても可能ですよ。

浅野寝生：どうしよう

GM：6番の部屋には人影はない。

浅野寝生：3番は？

GM：3番もないですね

浅野寝生：「とりあえず近づいてみるか」

小篠憂里：壁抜きっていける？ 疾風の如くでw

GM：行けますよ

小篠憂里：3 2-7は行き止まり？

GM：扉になってますね

小篠憂里：壊せる？

GM：中々難しそう。って言うか、そこからだと見えない。でも記憶が正しければかなり頑丈な扉。そう、悪名高き「生徒指導室」なので…

浅野寝生：店員と店長のいる生徒指導室

小篠憂里：（後ろからヘブンくんが来ると信じて）「疾風の如くで一気に追い抜く！！」

佐藤釈迦：（ユウリは俺の人間力をいつも忘れてる気がする）

小篠憂里：「生徒指導室になんて行かせない！！ 経師が来る前に止めます！」

GM：じゃあ後は明日香ですね

飛鳥明日香：こよりと紅茶談義。

GM：それではイアンですが……その位置だと移動してから見えるんだなw

GM：憂里に先回りされて焦った様子です

イアン・穴都谷：「く、誰だ…そこをどけ！どかないなら…」と銃を取り出す

佐藤积迦：こいつ肉体派か！

小篠憂里：「…………撃つの？」

飛鳥明日香：女の子撃つとかサイテー

イアン・穴都谷：「撃つ、だけではない、俺がその気になれば撃ち倒す」

小篠憂里：「（背中に回してた槍を前に構えて）なら突破してみなさいよ、あんたが何をしたいか知らないけど」

佐藤积迦：だらだら歩く

浅野寝生：左側の部屋のチェックとかに向かったほうがいいのかなぁとか思いながら上に進む

飛鳥明日香：紅茶談義も白熱してまいりました。

黒羽こより：「今度胡椒をアクセントに加えてみようと思うのよ」

飛鳥明日香：「紅茶にはショウガでしょやっぱり。」

小篠憂里：「一気に行きます！風神よ、私に力を貸して！風神の波動！！」

小篠憂里：（ダイス判定）

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避成功）まあ俺にはかなわないがな

小篠憂里：ちょおおおおおおおおおおおお

浅野寝生：これが人間の力

イアン・穴都谷：（空中にジャンプ）

イアン・穴都谷：「火を噴け、ジェットバーナー！」

小篠憂里：（ダイス判定…回避成功）

小篠憂里：「あ、危なかった…のかな」

イアン・穴都谷：「生き延びたか…」

浅野寝生：いつもどおりの神回避

佐藤釈迦：「おっぱじめやがったのかぁ・・・」だらだら歩く。

飛鳥明日香：「そういえば、昨日イアンと何の話してたの？ 今こっち向かっているらしいんだけど」

飛鳥明日香：「おとといだったっけ？ ほら、漫画喫茶で」

黒羽こより：「え？こっちに向かってくるって、どういうこと？」

飛鳥明日香：「（そっちに反応した）何かさっきヘブンリーから電話会ってそっち言っているから気を付けろ的な」

黒羽こより：「……確かに危険なところもあるのかしら」

小篠憂里：もう一発、行きますか。「風神の波動！」

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避成功）

イアン・穴都谷：「ハッ！次はこっちの番だな！」（空中）

小篠憂里：「また！？」

小篠憂里：（ダイス判定…回避失敗）

小篠憂里：「ッ！！」（かすり傷）

GM：いやこれ即死じゃないですかね

浅野寝生：し、しーるどは・・・

小篠憂里：使うよ！！

GM：じゃあ、ダメージが半減して12になります

小篠憂里：「ぎ、ギリギリ…か」

イアン・穴都谷：「シールド……か、油断してはいけないという事だな」

浅野寢生：いつもどおり移動

浅野寢生：「異次元迷子スキルに目覚めてしまった…（汗）」

佐藤积迦：「いやな予感がするぁ・・・」だらだら

飛鳥明日香：こよりんと意見の統一を図る。

黒羽こより：「イアンが危険なことは私も気づいていたわ」

飛鳥明日香：「ダメだよ危険な人に近づいちゃあ」

黒羽こより：「……そう、ね…」

飛鳥明日香：「とりあえずイアンが来たら逃げる方向で。それとも何か用事あったりする？」

黒羽こより：「いえ、ないわ。When god Cry は自分で探す事にする」

飛鳥明日香：「それがいいね」

飛鳥明日香：紅茶談義の続き。

小篠憂里：「……………（汗）」

小篠憂里：とりあえず「疾風の如くを駆使して一気に飛ぶ！！」

小篠憂里：5の部屋へ！！

小篠憂里：（すまん、ヘブンくん！！）

GM：さて、イアンは移動して…

佐藤积迦：扉は・・・

GM：生徒指導室の鍵を…開けました！

佐藤积迦：鍵もちか！

GM：中に怪しいやつが動いてます。君らは見えないけど店長か店員かなんかじゃないですかね

浅野寝生：なんだこのアイコン・・・

小篠憂里：噴いたww

飛鳥明日香：茹で卵に髪の毛が生えてるぞ。

浅野寝生：バナナマンに声掛けて良いですか

GM：どうぞ

浅野寝生：「こんにちは一何してるんですか？」

バナナマン：「ホッ！？イアン君、この子も仲間だったのかーネ？」

浅野寝生：あやしい

飛鳥明日香：店員ではないっぽいな。

浅野寝生：「生徒会室の鍵が盗まれたってきいたけどそれがその鍵ー？」

佐藤积迺：いや、イアンが盗んだって先生言ってたような気がする。

浅野寝生：ネミーは可能な限りとぼけます

イアン・穴都谷：「ああ、偶然拾ってな。返しに行こうと思っていたんだ。この人も危険だから保護するぜ」

浅野寝生：「おー、せんせいがたと違って有能ですねあなた」

イアン・穴都谷：「ゆ、有能……フフフフ、そうだなアハハハ」とまんざらでもない様子。

バナナマン：「おい、イアン君、店員を助けなければいけないヨ」

浅野寝生：微妙に移動しながら「生徒じゃないみたいですけどここへはどのような用です？」

バナナマン：「いやっ、学園に呼ばれたけどネ、怪しくないヨ？呼ばれただけだから来たんだよ、大丈夫、大丈夫」

浅野寝生：「呼び出されてこれじゃあ散々ですねえ」

バナナマン：「ん？紅茶も頂いたからネ？お菓子は出なかったヨ」

浅野寝生：「ほー」

浅野寝生：次ターンはバナナマン襲おうかどうしようか。一撃で意識を絶てる程度の火力はある

飛鳥明日香：「へっきし。どこかで誰かが紅茶の話をしているな」

飛鳥明日香：（だんだん紅茶のネタも尽きてきた。）

黒羽こより：「そろそろコーヒーの時代だと思ふの。」

浅野寝生：珈琲時代到来ですか

飛鳥明日香：もう紅茶談義も秋田米正直。でもこよりを一人にするのもあれだし待機で

黒羽こより：「god may cry の話をしましょう」

浅野寝生：布教活動だ！

飛鳥明日香：「こないだあの焼け焦げたのを讀んだ」

イアン・穴都谷：（まだ喜んでいる）

バナナマン：「おい、イアン君そろそろ移動しよう」

浅野寝生：「危険かもしれないし、私もついていくよー？ていうか建物全部閉まってて入れないんだよね。

あけてあけてー」

GM：イアンががちゃっと鍵を開けます

浅野寝生：「いやー助かるよ」

イアン・穴都谷：「あ、お前誰だ？」

浅野寝生：「ん？ さっき話してたじゃない」

イアン・穴都谷：「店長、アンタの知り合いか？」

佐藤釈迦：これが店長かあああああああ

飛鳥明日香：うさんくせえええええええ

バナナマン：「いや、イアン君の知り合いだと思っていたネ」

浅野寝生：よく公認出したな

イアン・穴都谷：「つまり、お前は…誰だっけか？」

浅野寝生：「うーん……落第生だな！」

イアン・穴都谷：「ら、落第、だと……（わなわな）落第か！がんばれよ！」

浅野寝生：「それで、その人保護して鍵返しに行くんですよねー？お手伝いさせてもらってせんせーからの評価を少しなんとかしたい下心がございまして…」

佐藤积迺：見られない辺りまできます。あれ、私の顔は見られてるのかな？

GM：君はすれ違いましたよ

佐藤积迺：漫画喫茶じゃなくて、さっきユウリが突っ込む前

GM：それは見えてない。

佐藤积迺：じゃあ私もいくか！

佐藤积迺：「おーい、おめえらうるせえんだけど、なにしてんだ？」

GM：へブン出て行くのね

佐藤积迺：でました

浅野寝生：特徴的な容姿過ぎる人が出てきた

GM：イアンの顔色が変わります。お前…喫茶店のやつだな、さっきの女の仲間だろうとさっと銃を取り出します

GM：（喫茶店は判定でばれていた）

浅野寝生：そういえばネミーのくそ尾行では顔確認されてなかったのね「ちょっとちょっと、いきなり銃なんて物騒な」

飛鳥明日香：やめるんだ、ばいきんまん！

佐藤积迺：「・・・ああ？そんなので俺がびびるとでも思ってたのかあ？」

バナナマン：「ど、どういうことなのかネー！」

佐藤釈迦：「3秒時間をくれてやるぜえ、好きにうってこいや？ああ？」

佐藤釈迦：とって姑息に自己 BUFF、スーパー釈迦になります

飛鳥明日香：おでこひろい

浅野寝生：どうせ仲間には当たらないということで自分中心に[おはようインパクト]

浅野寝生：「喧嘩はだめだってば！」

バナナマン：（ダイス判定…回避失敗）

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避失敗）

ダイス判定：(3D6 + 10) → 6[3, 1, 2] + 10 → 16

浅野寝生：6点ずつおねがいしまー

浅野寝生：バナナが死んだ

飛鳥明日香：バナナ???????

GM：バナナマンは大音響で悶絶しました

小篠憂里：すげええええええええええええええええ

佐藤釈迦：バナナめ・・・

GM：その轟音は明日香やこよりも聞こえる。

黒羽こより：なに？目覚ましの音？

飛鳥明日香：「彼奴らめ。おっばじめよったわ。」

黒羽こより：「キャツラって…」

飛鳥明日香：「どれ、重い腰を上げるとするかろう」

黒羽こより：「私も行くわ。自分で決着を付けたいの」

飛鳥明日香：「ほっほっほ、心強いのを」

飛鳥明日香：っていうかどうしたらそこまで行けるんだ。

佐藤釈迦：瞬間移動しか・・・

黒羽こより：「決着を付けたかったけど、後は任せるわ」

飛鳥明日香：「任されたー！！」

飛鳥明日香：シーユレーターアリゲーター！

GM：イアンは釈迦を撃ちます

イアン・穴都谷：「……！」

佐藤釈迦：まじで一

佐藤釈迦：（ダイス判定…回避失敗）

小篠憂里：へブンくーん！！

佐藤釈迦：あたりか！

GM：あたりだ！！

浅野寝生：OH

佐藤釈迦：「・・・俺を倒すとは・・・なかなか、やる・・・じゃ・・・ねえ・・・か・・・」

佐藤釈迦：ばた

GM：尊い犠牲が

飛鳥明日香：へぶーん！！！！

浅野寝生：「ほ、本当に撃つなんて・・・」

小篠憂里：へぶーん！！！！

GM：皆さんのターン（へブンに行ってしまったへブン君除く）

小篠憂里：これ、どうするのw

飛鳥明日香：へぶん！ へぶん！ へぶん！ （ラッパの音）

飛鳥明日香：わにわに（空間移動）

浅野寝生：[おやすみショック]

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避失敗）

浅野寝生：「お前、なんてことをおおお！」

浅野寝生：10ダメージとなります

イアン・穴都谷：「なん…だと…お返しだ！」

イアン・穴都谷：銃で撃ちます

浅野寝生：（ダイス判定…回避成功）

浅野寝生：ジャンプジャンプ

イアン・穴都谷：「なに！？」

浅野寝生：「見えたっ！」

小篠憂里：す、すごい

飛鳥明日香：すばらしーね。

佐藤积迦（in ヘブン）：何この人達おかしい

飛鳥明日香：わに

浅野寝生：空中[おはようインパクト]28-10中心でイアンとネミーが範囲内

イアン・穴都谷：「うざい！！」

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避成功）

佐藤积迦（in ヘブン）：さすがやってくれる

イアン・穴都谷：空中だ！

浅野寝生：「んう」

小篠憂里：ならば私も…。（傷が痛むけど、此处で踏ん張らなきゃ）「五回目！疾風の如くでイアンの横移動！」

イアン・穴都谷：「今度こそしとめてくれる！」

イアン・穴都谷：ネミーに攻撃

浅野寝生：（ダイス判定…回避成功）

小篠憂里：ナイス過ぎ！！

浅野寝生：「まだまだ～」

イアン・穴都谷：「ちくしょう！！」

佐藤积迺（in ヘブン）：そのチートダイス私にも売ってくれないかね？？？

GM：なんか空の上から声が聞こえる。

浅野寝生：それは尊い犠牲の声

飛鳥明日香：誰にも見えていないけどカッコいいアピールをします

飛鳥明日香：「おれ、この戦いから帰ったら、幼馴染に告白して、帰りを待つ病気の妹に薬を持って行ってあげるんだ……」

黒羽こより：なんでこの道こんなに長いのよ…（移動力2）

飛鳥明日香：こよりが来るまでに終わらせよう。

小篠憂里：風神の波動…。いきます！

イアン・穴都谷：「またお前か！」

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避成功）

小篠憂里：「なんでさ！！」

浅野寝生：ネミーは同じマスへ移動

GM：む、移動するんだ

イアン・穴都谷：だんだん自信がなくなってきたが、ネミーを撃つ！

浅野寝生：（ダイス判定…回避成功）

小篠憂里：おかしい

飛鳥明日香：不可思議。

浅野寝生：「さあ、お仕置き時間だ」

佐藤釈迦：おかしい

浅野寝生：なぐりますなぐります

浅野寝生：パンチ（斧）

イアン・穴都谷：「…！近接だと！」

浅野寝生：さすがにこれじゃ当たらんでしょー

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避成功）

イアン・穴都谷：「当たらん！！」

浅野寝生：「やっぱコントロールつかないなあ」

小篠憂里：「風神の波動！！」

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避失敗）

イアン・穴都谷：「ぐあっ！！」

小篠憂里：「皆の思い！！思い知って受け取りやがれ！！イアン！！」（風神の波動！！）

イアン・穴都谷：「よくもお…よくもお…」

飛鳥明日香：壁の向こうから大爆衝。

GM：スキル名がすぎる

浅野寝生：ダイナマイトスマイル

イアン・穴都谷：（ダイス判定…回避失敗）

飛鳥明日香：ダメージ5点です。

飛鳥明日香：「どっ（爆笑）」みたいな音がして爆発します。

イアン・穴都谷：「うああああ、俺が、こんなところで……いやだあ…」

佐藤釈迦：ひどい終わり方に・・・

GM：イアンは倒れました！！

飛鳥明日香：「あたったかなあ。見えないけれど……」

小篠憂里：「た、倒れたか……」（冷や汗掻いて槍を地面に落とすも意識はギリギリ保ってます）

浅野寝生：「しゅがーくん生きてる？大丈夫？」

黒羽こより：「なんかすごい声でしたけど、笑点でもやってるの？」

飛鳥明日香：わっはっはっはw……（爆音の残響）

明日への離陸（デコラージュ）

小篠憂里：「あ、そうだ！ヘブンくん！！」

佐藤釈迦：起きていいんでしょうか

GM：いいですよ

GM：まあ当分ふらふらしててください

佐藤釈迦：「……………ってーな。ああ？イアンねてんじゃねーか。ったくよー」

浅野寝生：そういえば明日香は完全に姿現してないんだw

飛鳥明日香：見えざる爆撃者。

小篠憂里：凄い異名だ

飛鳥明日香：インビジブルボマー

GM：ほっとした君達の目に経師たちが集まってくるのが見えて、急速に事態が收拾して行きますね。

飛鳥明日香：「こよりんもう走らなくて大丈夫だよー」

浅野寝生：「むのうどもが来たかぁ」

水子：「いや、学園の治安を生徒達に守られては情けない事だ、しかし感謝している。ありがとう」

小篠憂里：「ふう。なんとか平穩戻ったのかな…」

佐藤积迦：「・・・結局よお、クロワーゼってなんだったんだ？」

水子：「カフェテリア・バンド・デシネー自体がヴォルテックスラムと繋がっていたとは…」

浅野寝生：「あの漫画喫茶悪かったんだ」

佐藤积迦：「早くおれの諭吉かえせやこら」

水子：「あ、あと2週間待ちなさい」

浅野寝生：「あとは水子先生に顧問の仕事がんばってもらっただけだねー」

飛鳥明日香：「洗剤パスタは？ 洗剤パスタはどうなったの？パゲマシ部は？ パゲマシ部の存続はどうなるの？」

黒羽こより：「食べ物は無難が一番だと思うの」

黒羽こより：「洗剤を食べ物に入れたらいけないでしょう？」

飛鳥明日香：「……（Σはっ）洗剤パスタ洗剤抜き。」

浅野寝生：「入部するときはあんなに乗り気だったのにどうしちゃったの!？」

佐藤积迦：「つかおまえら

佐藤积迦：俺の腹に穴あいてるんだけど？」

佐藤积迦：気絶

飛鳥明日香：「中に誰もいませんよ」

小篠憂里：「私も早い所、休憩済まさないと…。ギリギリ立てるレベル」

GM：そんなこんなで、パゲマシ部は波乱の創部1年目を始めたのであった

GM：お疲れ様でした！

飛鳥明日香：お疲れ様でした！！

佐藤积迦：おつかれさまー

浅野寝生：おつかれさまでした！！

小篠憂里：お疲れ様でした！！

END